

青年海外協力隊 平成23年度秋要請集

平成23年10月

No.1

農林水産・加工部門

《 閱 覧 資 料 》

持出禁止

独立行政法人国際協力機構

青年海外協力隊事務局

J/
333,9

SE

23-2

15355



青年海外協力隊 平成23年度秋募集要請集

職種	国名	要請番号	ページ	
1001	食用作物・稲作栽培	ナミビア	52711B01	1
1001	食用作物・稲作栽培	ウガンダ	54511B01	2
1001	食用作物・稲作栽培	ウガンダ	54511B02	3
1001	食用作物・稲作栽培	ウガンダ	54511B03	4
1001	食用作物・稲作栽培	ウガンダ	54511B04	5
1001	食用作物・稲作栽培	ベナン	56011B07	6
1003	野菜栽培	ベトナム	02711B04	7
1003	野菜栽培	ベトナム	02711B06	8
1003	野菜栽培	ブータン	04811B07	9
1003	野菜栽培	モルディブ	05711B01	10
1003	野菜栽培	フィジー	10611B06	11
1003	野菜栽培	ドミニカ共和国	22411B18	12
1003	野菜栽培	グアテマラ	23311B01	13
1003	野菜栽培	ニカラグア	24811B01	14
1003	野菜栽培	ベネズエラ	33611B01	15
1003	野菜栽培	ケニア	51511B21	16
1003	野菜栽培	ザンビア	55111B13	17
1003	野菜栽培	ザンビア	55111B15	18
1003	野菜栽培	ガボン	60911B04	19
1003	野菜栽培	ガボン	60911B05	20
1003	野菜栽培	マリ	62111B02	21
1003	野菜栽培	セネガル	64211B02	22
1003	野菜栽培	セネガル	64211B07	23
1004	果樹栽培	インドネシア	00611B09	24
1004	果樹栽培	ウズベキスタン	76311B11	25
1006	きのこ栽培	ブータン	04811B20	26
1101	病虫害対策	コロンビア	31511B04	27
1101	病虫害対策	ウガンダ	54511B05	28
1102	土壌肥料	マリ	62111B03	29
1201	農業土木	ザンビア	55111B18	30
1201	農業土木	モザンビーク	63011B30	31
1201	農業土木	モザンビーク	63011B31	32
1402	家畜飼育	ラオス	02411B04	33
1402	家畜飼育	モルディブ	05711B02	34
1402	家畜飼育	ウガンダ	54511B06	35
1403	獣医・衛生	フィリピン	01211B06	36
1403	獣医・衛生	ラオス	02411B05	37
1501	農業協同組合	エチオピア	50811B10	38
1502	漁業協同組合	バブアニューギニア	12411B01	39
1503	村落開発普及員	フィリピン	01211B02	40
1503	村落開発普及員	ラオス	02411B08	41
1503	村落開発普及員	ベトナム	02711B01	42
1503	村落開発普及員	ベトナム	02711B02	43
1503	村落開発普及員	ベトナム	02711B03	44
1503	村落開発普及員	バングラデシュ	05111B06	45
1503	村落開発普及員	バングラデシュ	05111B07	46
1503	村落開発普及員	ネパール	06011B03	47
1503	村落開発普及員	ネパール	06011B04	48
1503	村落開発普及員	バブアニューギニア	12411B02	49
1503	村落開発普及員	トンガ	13011B05	50

職種	国名	要請番号	ページ	
1503	村落開発普及員	エルサルバドル	22711B04	51
1503	村落開発普及員	エルサルバドル	22711B05	52
1503	村落開発普及員	グアテマラ	23311B02	53
1503	村落開発普及員	ボリビア	30611B03	54
1503	村落開発普及員	モロッコ	46911B03	55
1503	村落開発普及員	スーダン	47211B01	56
1503	村落開発普及員	スーダン	47211B02	57
1503	村落開発普及員	ガーナ	51211B01	58
1503	村落開発普及員	ケニア	51511B18	59
1503	村落開発普及員	ケニア	51511B19	60
1503	村落開発普及員	マラウイ	52411B10	61
1503	村落開発普及員	ウガンダ	54511B07	62
1503	村落開発普及員	ウガンダ	54511B08	63
1503	村落開発普及員	ウガンダ	54511B09	64
1503	村落開発普及員	ウガンダ	54511B10	65
1503	村落開発普及員	ウガンダ	54511B11	66
1503	村落開発普及員	ウガンダ	54511B12	67
1503	村落開発普及員	ウガンダ	54511B13	68
1503	村落開発普及員	ウガンダ	54511B14	69
1503	村落開発普及員	ウガンダ	54511B15	70
1503	村落開発普及員	ウガンダ	54511B16	71
1503	村落開発普及員	ウガンダ	54511B17	72
1503	村落開発普及員	ウガンダ	54511B18	73
1503	村落開発普及員	ウガンダ	54511B19	74
1503	村落開発普及員	ザンビア	55111B14	75
1503	村落開発普及員	ザンビア	55111B16	76
1503	村落開発普及員	ベナン	56011B01	77
1503	村落開発普及員	ベナン	56011B02	78
1503	村落開発普及員	ベナン	56011B03	79
1503	村落開発普及員	ベナン	56011B04	80
1503	村落開発普及員	カメルーン	56911B01	81
1503	村落開発普及員	カメルーン	56911B02	82
1503	村落開発普及員	カメルーン	56911B03	83
1503	村落開発普及員	マリ	62111B01	84
1503	村落開発普及員	マリ	62111B07	85
1503	村落開発普及員	モザンビーク	63011B01	86
1503	村落開発普及員	モザンビーク	63011B02	87
1503	村落開発普及員	モザンビーク	63011B16	88
1503	村落開発普及員	ルワンダ	63611B04	89
1503	村落開発普及員	ルワンダ	63611B05	90
1503	村落開発普及員	ルワンダ	63611B06	91
1503	村落開発普及員	ルワンダ	63611B07	92
1503	村落開発普及員	ルワンダ	63611B08	93
1503	村落開発普及員	ルワンダ	63611B09	94
1503	村落開発普及員	ルワンダ	63611B10	95
1503	村落開発普及員	キルギス	74511B04	96
1503	村落開発普及員	キルギス	74511B05	97
1602	農畜産物加工	インドネシア	00611B08	98
1602	農畜産物加工	ガーナ	51211B02	99
1604	水産物加工	インドネシア	00611B10	100

青年海外協力隊 平成23年度秋募集要請集

職種	国名	要請番号	ページ
1702 植林	ネパール	06011B02	101
1702 植林	ベネズエラ	33611B02	102
1702 植林	マリ	62111B04	103
1803 養殖	ラオス	02411B06	104
1803 養殖	ケニア	51511B20	105
1902 生態調査	ガボン	60911B03	106
2003 木工	フィジー	10611B11	107
2003 木工	ガーナ	51211B03	108
2201 溶接	ヨルダン	42411B06	109
2301 繊維	ガーナ	51211B04	110

この要請集は平成23年8月末までの各国からの要請を取りまとめたものです。受入国の事情により、募集から選考までの期間に、要請の追加、変更、取消が行われることもあります。追加・変更・取消要請に関する情報については、JICA ボランティアウェブサイトをご覧ください。



<http://www.jocv-info.jica.go.jp/jv/>



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 6 月 29 日

要請番号(JL 527-11-B-01)	調査者名: 北山 敏之
------------------------	-------------

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ナミビア	職種 食用作物・稲作栽培 (コード 1001)	◎ 新規 ○ 交替 代目	◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	24 / 1
	指導科目			2	24 / 2
	職種(英) Food Crops & Rice Culture			3	24 / 3
	指導科目(英)				年 月 から

開発課題 基礎生活の向上

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education
	2) 配属先名 (日本語) ナミビア大学オゴゴ校 (英語) University of Namibia Ogongo Campus
	3) 任地 オシャナ州オゴゴ 首都(ヴィントフック)から 北西 方向 800 Km 主要都市(オシャカティ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1.0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ナミビア国における唯一の4年生総合大学で約1万人の学生を擁する。オゴゴ校は、季節湿地への稲作導入を含む乾燥地作物生産に関する技術開発を担い、ナミビア国の作物生産効率を高めることを目的としている。予算: ナミビア大学オゴゴキャンパス経常経費 3500万円/年程度。現在JICAボランティア(食用作物・稲作栽培/稲作)を要請中。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 オシャナ州は、年間降水量が約400mmの半乾燥地域であるが、雨季になると隣国からの洪水を受けるため、広大な季節性湿地帯が形成される。現地の自給自足農家は乾燥地での栽培に適したトウジンビエ栽培と放牧を生業としており、湿地での作物栽培は行われていない。当大学には元JICA研修生が6名在籍し、この湿地に稲を導入する研究プロジェクトが実施され、多くの現地農家が稲の栽培を試すことを望んでいる。いっぽう現地では主食としてトウジンビエが栽培されており、稲作とトウジンビエの両者の栽培を一体化した混作栽培を行う希望があり、ナミビア大学からトウジンビエと稲作の混作栽培普及にたずさわる隊員の派遣が要請された。

2) 期待される具体的業務内容
 ①農家及び学生に対するイネとトウジンビエ混作栽培啓発活動。
 ②学生への実習の一環として、大学内の実験農場で稲とトウジンビエを混作栽培し、展示圃場を管理運営。
 ③展示圃場で、作物の生育を観察し、栽培技術を皆で検討する現場での講習会の企画運営。
 ④大学の技術職員との協働作業を通して現地の湿地に適した品種群の展示圃場の管理運営。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 JICAフォローアップ事業により提供された籾摺り精米機など

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 現地農家、学生: 技術レベルは初歩 大学スタッフ: 元JICA研修員であり、レベルは初中級	5) 業務使用言語 (訓練言語は上段) 英語 () ()	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル:)
--	---	--

資格条件
 条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
 ・教諭免許() ・性別() 性別理由:
 ・学歴 (大卒) (農学) 学歴理由: 大学生が対象であり農学全般知識が必須
 ・経歴 () () 経歴理由:
 ・理由:
 ・理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(サバナ) 気温(10-45℃位)	電気 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
地域	電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)	水道 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)

短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 27 日

要請番号(JL 545 - 11 - B - 01)

調査者名: 佐藤 宏美

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ウガンダ	職種 食用作物・稲作栽培 (コード 1001)	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	24 / 1
	指導科目			2	24 / 2
	職種(英) Food Crops & Rice Culture			3	24 / 3
	指導科目(英)				年 月 から

開発課題 農業近代化促進

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業畜産水産省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture, Animal Industry and Fisheries	
	2) 配属先名 (日本語) 国立作物資源研究所 (英語) National Crops Resources Research Institute	
	3) 任地 ワキソ県ナムロンゲ 首都(カンバラ)から 北 方向 25 Km 主要都市(カンバラ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1 時間)	
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農業分野の研究・技術開発を担う国家農業研究機構(NARO)の傘下にある作物資源研究所は食用作物全般の研究実施機関である。JICAは2004年6月から個別専門家を継続的に派遣、2008年からはコメ振興プログラムのもと「ネリカ米振興プロジェクト」を開始、研究所においてネリカの品種試験、研修や種子の配付を通じた普及活動を展開してきた。2011年秋には新たなコメ振興プロジェクトが開始予定である。	
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ウガンダは、サブサハラアフリカ諸国の中でも米の栽培が急速に拡大した国の一つである。CARD(アフリカ稲作振興のための共同体)もサブ・サハラアフリカのコメ生産を2017年までに倍増させることを目標に掲げ、一層の稲作普及が求められている。JICAは2008年より「コメ振興プログラム」を開始し、専門家と協力しながらウガンダへの稲作栽培技術移転を目指している。研究所スタッフへの適正な栽培方法の指導が求められることから長期隊員の派遣が要請された。前任は研究所での実証試験実施、周辺村落への稲作普及活動、他隊員への技術的支援を行っている。	
	2) 期待される具体的業務内容 ①プロジェクトと連携した稲作に関する各種試験の実施 ②農家圃場における実証試験の実施 ③ウガンダ各地で稲作普及に関する活動を行っている隊員の任地を訪問するなどして、稲作技術のアドバイスを 行う ④隊員や活動地域の普及員とともに、米栽培に必要な知識・技術を農民に伝える。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 試験・実験機材一式	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 現在米の研究を行っているCereal Programには総勢8名のResearcherがいる。	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 () その他 (ガンダ語)
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許() ・性別() 性別理由: ・学歴(大卒) (農学) 学歴理由: 栽培試験等を行うため ・経歴() () 経歴理由: ・小型自動二輪以上 理由: 村落部への巡回に必要なため 理由:	
活動用交通手段の必要性		
●有 ○無 ○車輦 ●単車 ○自転車		
村落への巡回が期待されているため。		
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)		
概地域況	気候(亜熱帯) 気温(10-30℃位) 電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 27 日

要請番号(JL 545 - 11 - B - 02)

調査者名: 佐藤 宏美

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ウガンダ	職種 食用作物・稲作栽培 (コード 1001)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	24 / 1
	指導科目			2	24 / 2
	職種(英) Food Crops & Rice Culture			3	24 / 3
	指導科目(英)				年 月 日から

開発課題 農業近代化促進

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業畜産水産省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture, Animal Industry and Fisheries
	2) 配属先名 (日本語) 国立作物資源研究所 (英語) National Crops Resources Research Institute
	3) 任地 ワキソ県ナムロンゲ 首都(カンバラ)から 北 方向 25 Km 主要都市(カンバラ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農業分野の研究・技術開発を担う国家農業研究機構 (NARO) の傘下にある作物資源研究所は食用作物全般の研究実施機関である。JICAは2004年6月から個別専門家を継続的に派遣、2008年からはコメ振興プログラムのもと「ネリカ米振興プロジェクト」を開始、研究所においてネリカの品種試験、研修や種子の配付を通じた普及活動を展開してきた。2011年秋には新たなコメ振興プロジェクトが開始予定である。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 ウガンダは、サブサハラアフリカ諸国の中でも米の栽培が急速に拡大した国の一つである。CARD (アフリカ稲作振興のための共同体) もサブ・サハラアフリカのコメ生産を2017年までに倍増させることを目標に掲げ、一層の稲作普及が求められている。JICAは2008年より「コメ振興プログラム」を開始し、専門家と協力しながらウガンダへの稲作栽培技術移転を目指している。研究所スタッフへの適正な栽培方法の指導が求められることから長期隊員の派遣が要請された。

2) 期待される具体的業務内容
 ①プロジェクトと連携した稲作に関する各種試験の実施
 ②農家圃場における実証試験の実施
 ③ウガンダ各地で稲作普及に関する活動を行っている隊員の任地を訪問するなどして、稲作技術のアドバイスを
 行う
 ④隊員や活動地域の普及員とともに、米栽培に必要な知識・技術を農民に伝える。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 試験・実験機材一式

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 現在米の研究を行っているCereal Programには総勢8名のResearcherがいる。	5) 業務使用言語 (訓練言語は上段) 英語 () その他 (ガンダ語)	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル:)
---	--	--

資格条件
 条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
 ・教諭免許 () ・性別 () 性別理由:
 ・学歴 (大卒) (農学) 学歴理由: 栽培試験等を行うため
 ・経験 () () 経験理由:
 ・小型自動二輪以上 理由: 村落部への巡回に必要なため
 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輛 ●単車 ○自転車 村落への巡回が期待されているため。			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(亜熱帯) 気温(10-30℃位)	電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
地域	電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)

短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 27 日

要請番号(JL 545 - 11 - B - 03)

調査者名: 佐藤 宏美

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
ウガンダ	職種 食用作物・稲作栽培 (コード 1001) 指導科目	○新規 ●交替 / 3 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	24 / 1	年 月 から
	職種(英) Food Crops & Rice Culture 指導科目(英)			2	24 / 2	
				3	24 / 3	
開発課題 農業近代化促進						
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業畜産水産省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture, Animal Industry and Fisheries					
	2) 配属先名 (日本語) プリンディ農業試験場 (英語) Naro-Bulindi Zonal Agricultural Research & Development Institute					
	3) 任地 ホイマ県プリンディ 首都(カンバラ)から 北西 方向 220 Km 主要都市(カンバラ)までの交通手段及び所要時間(車で約 3.5 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農業畜産水産省の下、2000年に設立された農業試験・技術普及・研修の機能を兼ね備えた施設。ホイマを中心とした西部地域における農業生態圏に適した農業技術の開発、モデルファーム(広さ約100ha)としての機能、優良種子・優良苗・優良家畜の増殖と普及、農業指導者への訓練や農業従事者への研修を行っている。スタッフ約50名。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ウガンダは、サブサハラアフリカ諸国の中でも米の栽培が急速に拡大した国の一つである。CARD(アフリカ稲作振興のための共同体)もサブ・サハラアフリカのコメ生産を2017年までに倍増させることを目標に掲げ、一層の稲作普及が求められている。JICAは2008年より「コメ振興プログラム」を開始し、専門家と協力しながらウガンダへの稲作栽培技術移転を目指している。配属先は周辺の農業従事者向けに様々な研修を実施しており、ホイマ県周辺における稲作にも興味を示している。しかしながらまだ米農家の技術には改善の余地があり、適正な栽培方法の指導が求められることから、ボランティアが要請された。					
	2) 期待される具体的業務内容 ①プロジェクトと連携した稲作に関する各種試験の実施 ②農家圃場における実証試験の実施 ③ウガンダ各地で稲作普及に関する活動を行っている隊員の任地を訪問するなどして、稲作の技術アドバイスを 行う ④隊員や活動地域の普及員とともに、米栽培に必要な知識・技術を農民に伝える。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 試験・実験機材一式					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 稲作試験に関わるResearcher:2名			5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 () その他 (ニヨロ語)		6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル:)
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許()・性別()性別理由: ・学歴(大卒)(農学)学歴理由: 栽培試験等行うため ・経験()経験理由: ・小型自動二輪以上 理由: 村落部への巡回に必要なため 理由:					
活動用交通手段の必要性				研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輛 ●単車 ○自転車						×
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)						
概地況	気候(亜熱帯) 気温(10-30℃位)		電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	
	電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)					



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号 変更8/18
--------	----------------

記入日:平成 23 年 6 月 27 日

要請番号(JL 545- 11- B- 04)

調査者名: 佐藤 宏美

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ウガンダ	職種 食用作物・稲作栽培 (コード 1001)	○新規 ●交替 2代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	24 / 1
	指導科目			2	24 / 2
	職種(英) Food Crops & Rice Culture 指導科目(英)			3	24 / 3
年 月 日から					

開発課題 農業近代化促進

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 農業畜産水産省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture, Animal Industry and Fisheries
	2) 配属先名 (日本語) セレレ農業試験場 (英語) National Semi-Arid Resources Research Institute
	3) 任地 セレレ県 首都(カンパラ)から 北東 方向 350 Km 主要都市(ムレ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農業畜産水産省の下、1950年代に設立された農業試験・技術普及・研修の機能を兼ね備えた施設。北東部テソ地域における農業生態圏に適した農業技術の開発、優良種子・優良苗・優良家畜の増殖と普及、農業指導者への訓練や農業従事者への研修を行っている。スタッフ約18名。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ウガンダでは、サブサハラアフリカ諸国の中でも米の栽培が急速に拡大した国の一つである。CARD(アフリカ稲作振興のための共同体)もサブサハラアフリカの米生産を2017年までに倍増させることを目標に掲げており、一層の稲作普及が求められている。JICAは2008年より「米振興プログラム」を開始し、専門家と協力しながらウガンダへの稲作栽培技術移転を目指している。配属先は周辺の農業従事者向けに様々な研修を実施しており、テソ地域周辺における稲作にも興味を示している。しかしながらまだ米農家の技術には改善の余地があり、適正な栽培方法の指導が求められることから、ボランティアが要請された。
	2) 期待される具体的業務内容 ①プロジェクトと連携した稲作に関する各種試験の実施 ②農家圃場における実証試験の実施 ③ウガンダ各地で稲作普及に関する活動を行っている隊員の任地を訪問するなどして、稲作技術のアドバイスを 行う ④隊員や活動地域の普及員とともに、米栽培に必要な知識・技術を農民に伝える。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 試験・実験機材一式

資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 稲作試験に関わるResearcher : 18名	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 () その他 (テソ語) ()	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許() ・性別() 性別理由: ・学歴(大卒) (農学) 学歴理由: 栽培試験等行うため ・経歴() () 経歴理由: ・小型自動二輪以上 理由: 巡回活動に必要不可欠なため 理由:		

資格条件	活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
	●有 ○無 ○車輛 ●単車 ○自転車			×

村落部を巡回するため
 * 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地域	気候(亜熱帯) 気温(15-30℃位) 電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input checked="" type="checkbox"/> なし) 水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input checked="" type="checkbox"/> なし)
電話	<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし

平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 7 月 1 日

要請番号(JL 560 - 11 - B - 07)

調査者名: 東 信隆

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
ベナン	職種 食用作物・稲作栽培 (コード 1001)	◎ 新規 ○ 交替 代目	◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等
	指導科目			1 24 / 1	年 月 から
	職種(英) Food Crops & Rice Culture			2 24 / 2	
	指導科目(英)		3 /		

開発課題 農村住民の生活・生計向上

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業・畜産・漁業省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture, Livestock, Ficherise
	2) 配属先名 (日本語) グランポポ市農業促進センター (英語) Agriculture Promotion Center of Grand-Popo City
	3) 任地 グランポポ 首都(ポルトノボ)から 西 方向 115 Km 主要都市(コトヌー)までの交通手段及び所要時間(車 で約 2 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 市農業促進センターは、農業・畜産・水産省の市レベルの政策実施機関として各市に配置され、農業知識の普及、安定した収入確保のための生産調整などを実施している。独自の予算はなく、県レベルより配賦された予算で運営されている。グランポポ市では、河川で浮き生質養殖を行う養殖家グループをJICA専門家が指導したり、日本の支援で農業等を無償供与したりした実績があり、良好な協力関係にある。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 任地グランポポ市の地形は海、河川、低湿地など変化に富み、住民の多くが漁業・農業に従事している。海洋漁業(地引網)や井戸水の灌水による野菜栽培(人参、玉葱、レタス、トマトなど)の他、河川での浮き生質養殖などが行われているが、大多数は零細農家で収入が安定していない。特に近年、海での漁獲量減少による漁師の就農や農作物への伝染病被害などの問題があり、適切な農業技術の普及が重要となっている。しかし、普及員の人員不足や、農家が指導内容を受け入れない等の問題により効果的な指導ができていない。ボランティアは技術普及員と協力し、巡回する農家を絞り、農家の視点に立って技術の普及・啓発方法の改善に取り組む。
	2) 期待される具体的業務内容 ボランティアは、各技術普及員から技術面のサポートを受けるため農学に関する高度な専門知識は必要としないが、対象として選んだ農家を定期的に訪問しながら、以下の業務を行う。 1. 普及する農業知識の把握、農家が習得技術を実践する際の実施支援、技術普及員への報告 2. 現状の普及・啓発方法における問題点の把握 3. 普及・啓発方法を改善するための資料・ツールの作成、講習会の実施支援など 4. 農民グループの運営管理支援
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 パソコン

資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル センター長(男性、40代) 農民グループ指導員(男性20代) 水産技術普及員(男性、40代) 作物栽培技術普及員(男性、30代)	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) フランス語 () その他 (ミナ語、ポポ語)	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: B) <input type="checkbox"/> (レベル:)
------------------	---	---	--

条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
・ 教諭免許() ・ 性別() 性別理由: ・ 学歴()() 学歴理由: ・ 経験()() 経験理由: ・ 農業に係る知識、普及・啓発の経験 理由: 業務遂行上、必要であるため 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
◎ 有 ○ 無 ○ 車輦 ○ 単車 ◎ 自転車			×

活動上、巡回する必要があるため
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地域況	気候(熱帯) 気温(20-35℃位) 電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
------	---



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 28 日

要請番号(JL 027-11-B-04)

調査者名: 松浦象平/志賀龍

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ベトナム	職種 野菜栽培 (コード 1003)	◎ 新規 ○ 交替 代目	◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	24 / 1
	指導科目			2	24 / 2
	職種(英) Vegetable Growing			3	24 / 3
	指導科目(英)				年 月 から

開発課題 農業・農村開発/地方開発

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) カマウ省人民委員会 (受入機関名)(英語) People Committee of Ca Mau Province
	2) 配属先名 (日本語) 農業農村開発局 (英語) Department of Agriculture and Rural Development
	3) 任地 カマウ省カマウ市 首都(ハノイ)から 南 方向 2000 Km 主要都市(ホーチミン)までの交通手段及び所要時間(飛行機 で約 1 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 主な内容は以下のとおり。 ①農業・水産業における生産指導、②植林・森林管理、③灌漑施設工事、④住民の住宅地区再編成、⑤農村開発。 年間予算は、約22万USD。外国からの援助は、JICAからのみ。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 前任者 (H22年度2次隊/村落開発普及員) は同配属先に派遣されているJICA専門家と協力しながら、活動対象地域の生計向上を目指し、地域の特産物の販路拡大に取り組んでいる。今回は、配属先や隊員のこれまでの郡レベルでの活動を省レベルまで拡大し、さらに農業の技術移転に重点を置いた活動を行うため、所属先をカマウ省農業農村開発局 (DARD) の農業・水産養殖普及センターとしたボランティアの派遣が同局より要請された。
	2) 期待される具体的業務内容 ・ DARD農業・水産養殖普及センターの農業技術普及活動への支援。 ・ DARDが実施するJICAの貧困農民支援見返り資金プロジェクトによる農民の生計向上にかかる活動の支援。 ・ JICA技術協力プロジェクト「メコンデルタ地域における気候現行の影響を考慮した農業農村開発計画策定調査」で実施される現地実態調査などカマウ省で行う活動の支援。 *上記2プロジェクトにかかる業務実施にあたっては、JICA事務所の助言・指導の下に、農林業、農村開発にかかるJICA専門家と緊密に連携して実施することとなる。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 パソコン、プリンター、デジタルカメラ
要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル センター勤務職員: 40名 (うち女性10名) 郡普及事務所: 各3名程度
	5) 業務使用言語 (訓練言語は上段) ベトナム語 () ()
	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル:)

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・ 教諭免許 () ・ 性別 () 性別理由: ・ 学歴 () () 学歴理由: ・ 経験 (実務経験) (2年以上) 経験理由: 農業技術の普及活動を支援するため 理由: 集落への巡回に必要なため 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
◎有 ○無 ○車輛 ◎単車 ○自転車			x

活動対象地域を巡回するため
 * 研修等 (H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態 (P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(亜熱帯) 気温(25~35℃位) 電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
-----	--

平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

記入日:平成 23 年 6 月 28 日

要請番号(JL 027 - 11 - B - 06)

調査者名: 志賀 龍

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ベトナム	職種 野菜栽培 (コード 1003)	◎新規 ○交替 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	24 / 1
	指導科目			2	24 / 2
	職種(英) Vegetable Growing 指導科目(英)			3	24 / 3

開発課題 農業・農村開発/地方開発

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) ダクラク省人民委員会 (受入機関名)(英語) People Committee of Dak Lak Province
	2) 配属先名 (日本語) ダクラク省科学技術協会 (英語) Dak Lak Union of Science and Technology Associations
	3) 任地 ダクラク省バンメート市 首都(ハノイ)から 南 方向 1000 Km 主要都市(ホーチミン)までの交通手段及び所要時間(飛行機 で約 1 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は「すべての地域の科学と技術知識、技能者と農業者を集めること」「国の産業化、近代化、そして省の発展の事業に取り組み、その役割を高めること」「国の建設と擁護、省の飢餓の根絶と貧困撲滅のために貢献すること」を目的に設立された人民委員会管理下の団体。2010年度より実施されているJICA草の根協力事業「ダクラク省における有機農業技術の普及」(総事業費約1000万円)のベトナム側実施機関である。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ダクラク省が位置する中部高原地域は他地域に比べて貧困率が高く、JICAの地域開発の重点地域となっている。ダクラク省は気候が良く、コーヒー、蜂蜜、とうもろこしなどの生産量が全国一であり、カカオ、コメ、家畜も発展の可能性が高いが一般に農業技術はまだ十分に確立されていない。配属先は、日本のNPO研修生招聘協会とともに有機農業研修センターを設立し、前任者(22年度2次隊/村落開発普及員)は同センターの圃場の管理を通じ、有機農業技術の開発と地域への普及等の活動に取り組んでいる。今後は、有機農業技術の地域への普及により力を入れていくため、今回のボランティア要請が行われた。
	2) 期待される具体的業務内容 配属先スタッフと協議をしながら、以下の活動を行う。 ・有機農業研修センターの圃場における有機農業(無農薬栽培)の実践。 ・確立された技術の地域農家への技術普及・指導。 ・ベトナム人研修員に対する農業技術の指導。 *有機農業研修センターには研修生招聘協会の日本人スタッフが常駐しているため、実際の活動現場では同協会関係者との連携をする必要がある。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 特になし

資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 協会長1名(男性/60代) 副協会長兼センター長1名(男性/1名) その他スタッフ3名(20代~30代)	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) ベトナム語 ()	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル:)
------------------	--	------------------------------------	--

条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
・教諭免許() ・性別() 性別理由: ・学歴()() 学歴理由: ・経験(実務経験)(2年以上) 経験理由: 技術の開発と普及を行うため 理由: 農家の巡回に必要なため 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
◎有 ○無 ○車輛 ◎単車 ○自転車 農家の巡回を行うため			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(亜熱帯) 気温(10~35℃位) 電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
----------	--



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 6 月 6 日

要請番号(JL 048 - 11 - B - 07)	調査者名: 水野 茂博
------------------------------	-------------

国名	職種 / 指導科目 (コード 1003)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ブータン	職種 野菜栽培	◎ 新規 ○ 交替 代目	◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	24 / 1
	指導科目			2	24 / 2
	職種(英) Vegetable Growing			3	24 / 3
	指導科目(英)				年 月 から

開発課題 農業の近代化

1) 受入省庁名(日本語) 農林省
 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Forests

2) 配属先名 (日本語) 東部農業試験場タンヤンツェ種苗生産農場
 (英語) RNR-RDC East Centre, Trashiyangtse Seed & Sapling production farm

3) 任地 タンヤンツェ
 首都(テンブー)から 東 方向 590 Km
 主要都市(タンガン)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 東部農業試験場は、東部6県を対象に、園芸作物の試験研究の指針、取りまとめを行っている。2004年に続き、2010年から5年間、東部6県を対象に「園芸研究・開発プロジェクト=HRDP」を実施中。種苗生産農場は、野菜種子生産を目的として圃場整備を進めており、HRDPの支援の元、野菜種子の品質・生産技術の向上、生産種子による東部6県への野菜普及を目的としている。東部農業試験場年間予算は4600万円。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 農林省のNational seed Centerでは、予算、人員不足により種子生産を行っていないため、市販種子、普及用種子が不足し、思うような野菜生産が出来ない状況となっている。HRDPでは、原種子生産を行い、普及用の種子として農家委託生産種子を利用しているが、多様な野菜品目、品種に対応できる圃場規模ではないことから、タンヤンツェ県に新たに野菜種子生産農場を整備し、良質な野菜種子生産技術を確立し、野菜品目の多様化、品質・生産量の向上を図ることとしている。野菜以外には、主に大豆、インゲン豆等の豆類の品種比較試験、生産を行う予定。

2) 期待される具体的業務内容
 対象とする野菜はキャベツ、カリフラワー、ブロッコリ、大根、人参、カラシナ葉野菜、ホウレンソウ、九条ネギ、玉ネギ、カボチャ、ズッキーニ、トウガラシ、他に大豆、インゲン豆、陸稲、トウモロコシ。
 ・野菜種苗、栽培に関する指導・助言
 ・野菜種子生産技術に関する指導・助言
 ・生産種子の保存管理技術、パッキング方法などに関する指導・助言
 ・圃場整備・整地による効率的な圃場管理の模索・助言
 ・近隣農家への野菜栽培方法の普及・助言

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 耕運機、薬剤散布機、草刈機、ビニールハウスなど

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 研究員補3名が配属、30代前半2名、50代1名何れも男性、普及員6~7名(20~40代) 十分ではないが、野菜栽培については5~6年の経験あり、種子生産は経験が少ない。	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 () ()	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル:)
---	--	--

資格条件
 条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
 ・教諭免許() ・性別() 性別理由:
 ・学歴()() 学歴理由:
 ・経験(実務経験)(3年以上) 経験理由: 現地に即した指導が必要
 理由:
 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車			X

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域
 気候(温暖(冬は寒冷)) 気温(0~30℃位) 電気(□安定 ☒不安定 □なし)
 電話(☒インターネット可 ☒通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☒不安定 □なし)

平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 5 月 22 日

要請番号(JL 057 - 11 - B - 01)

調査者名: 築山佳代子

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
モルディ ブ	職種 野菜栽培 (コード 1003)	◎ 新規 ○ 交替 代目	◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	24 / 1
	指導科目			2	24 / 3
	職種(英) Vegetable Growing 指導科目(英)			3	/

開発課題 食糧支援

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 内務省 (受入機関名)(英語) Ministry of
	2) 配属先名 (日本語) NGO ズヴァンゲ・アール (英語) NGO Zuvaanunge Aaroh
	3) 任地 ラヴィヤニ環礁ナイファル島 首都(マレ)から 北 方向 140 Km 主要都市(マレ)までの交通手段及び所要時間(船 で約 3 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ナイファル島における青年の社会活動への参加と麻薬中毒阻止のために1988年に設立されたNGO。以来、青年メンバーを中心として、コミュニティ活動活性化のため、島間のフェリー運航や幼稚園の経営等、様々な活動を行っている。当国NGOの中でも青少年育成や環境保全等の先駆的活動を行ってきた。NGOメンバーは約380名。事業による収入は約35万円。各事業への寄付約110万円(2010年実績)。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 2010年から始まった「GO GREEN PROJECT」は島の公共の空き地に樹木や野菜、果物を栽培し、敷地内には公園やカフェを設置し環境教育を行っていくというもの。同プロジェクトの一環で、島民に家庭菜園等小規模野菜栽培を奨励し、島の緑を確保するとともに、余剰収穫物は近郊のリゾートへの販売でき、島民の小額収入も得られるというものである。プロジェクト運営費については、アメリカ合衆国からの支援を得て徐々に始められている。NGO事務所の一角には、国連開発計画(UNDP)から提供された水耕栽培の装置があり、レタス栽培を行っている。
	2) 期待される具体的業務内容 ・ 島民の家庭菜園や小規模野菜栽培を支援する。 ・ プロジェクト・サイトにて、家庭菜園や小規模野菜栽培の見本栽培を行う。 ・ NGO事務所内にある水耕栽培に協力する。 ・ 家庭菜園や小規模野菜栽培を通し、環境に優しい栽培法を指導する。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 水耕栽培装置、農機具や種等はボランティア赴任後話合いで必要なものを決定し、プロジェクト予算から購入。

資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル NGO役員: 18~50歳、男性12名、女性3名。 家庭菜園及び小規模栽培については、島民を直接指導。島民の農業知識及び技術はない(現在、自己流で行っている)。	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 () その他 (ディベヒ語) ()	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・ 教諭免許 () ・ 性別 () 性別理由: ・ 学歴 () () 学歴理由: ・ 経験 (実務経験) (2年以上) 経験理由: 農業の指導を行うため。 理由: 理由:		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車		N	x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
 概地 気候(熱帯モンスーン) 気温(25~35℃位) 電気(安定 不安定 なし)
 況域 電話(インターネット可 通話可 不良 なし) 水道(安定 不安定 なし)



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 20 日

要請番号(JL 106 - 11 - B - 06)

調査者名: 柴崎栄司

国名	職種 / 指導科目 (コード 1003)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
フィジー	職種 野菜栽培	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	24 / 1
	指導科目			2	24 / 2
	職種(英) Vegetable Growing			3	24 / 3
	指導科目(英)				年 月 日 から

開発課題 地方・離島部の生計向上

1) 受入省庁名(日本語) 教育国民遺産文化芸術青年スポーツ省
 (受入機関名)(英語) Ministry of Education, National Heritage, Culture and Arts, Youth and Sports

2) 配属先名 (日本語) サラスワティ中高等学校サラスワティ開発ユニット
 (英語) Saraswati Development Unit, Saraswati College

3) 任地 ナウンリ
 首都(スバ)から 東 方向 15 Km
 主要都市(ナウンリ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.3 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 1966年に設立された、幼稚園からForm7(日本の高校3年生に相当)を擁する中・高等学校。普通科の他、職業訓練コースが併設されている。フィジー国内では職業訓練コースの農業科を有する学校は13校しかなく、普通科からドロップアウトした生徒を積極的に受け入れている。また、卒業生の支援のための農村開発プロジェクトも設立されている。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 職業訓練コースの農業科は、生徒が卒業後に村に戻り、農業で生計を立てられるような実践的な指導を目的とし、2010年に設立された。生計向上の手段を多様化させるため、養殖(ティラピア、エビ)も行っている。また、農村開発のための、サラスワティ開発ユニットを設立し、卒業生に対してのフォローアップの一環として、農業指導や種子配布なども行っている。学問としてではなく、実践的な農業の指導の充実と、より多くのアイデアを教師・生徒と共有し、実行するために、隊員の要請に至った。

2) 期待される具体的業務内容
 ①職業訓練コース農業科において、同僚教師とともに、生徒への農業実習を担当する。生徒数は1クラス20~30名の2クラス。必要に応じて、普通科選択科目の農業実習を支援する。
 ②農村開発プロジェクトにおいて、近隣の卒業生を巡回し、より高収入に向けた農業指導を行う。短期間のトレーニングを配属先にて実施することも検討されている。
 ③実習農場(45エーカー)での種子の自家採取や、新品種の導入、混合農業の助言を行う。フィジーでは、斜面や湿地が多いため、これらの土地を有効利用できるアイデアを模索する。
 ※配属先から供与される住居に、同性JOCVと同居になる可能性あり。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 基本的な農業道具、噴霧器等

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 講師4名(30~40歳台:経験10年以上:男性3名女性1名)
 指導対象者は生徒(高校生相当)ならびに卒業生

5) 業務使用言語(訓練言語は上段)
 英語 ()
 その他 (フィジー語、ヒンディー語)

6) 選考指定言語
 英語 (レベル: C)
 (レベル:)

資格条件
 条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
 ・教諭免許() ・性別() 性別理由:
 ・学歴(大卒) (農学) 学歴理由: 農業全般の知識に基づく指導が必要
 ・経験(実務経験) (3年以上) 経験理由: 実習に必須
 理由:
 理由:

活動用交通手段の必要性
 有 無 車輦 単車 自転車

研修等 形態 現職教員特別参加制度

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況 気候(亜熱帯海洋性) 気温(15~35℃位) 電気(安定 不安定 なし)
 電話(インターネット可 通話可 不良 なし) 水道(安定 不安定 なし)

平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 6 月 22 日

要請番号(JL 224 - 11 - B - 18)

調査者名: 松本マツノ

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ドミニカ 共和国	職種 野菜栽培 (コード 1003)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	24 / 1
	指導科目			2	24 / 2
	職種(英) Vegetable Growing 指導科目(英)			3	24 / 3
				年	月 から

開発課題 貧困層の生活向上

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 高等教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Higher Education
	2) 配属先名 (日本語) シバオ・カトリック技術大学(UCATECI) (英語) Catholic University of Technology in Cibao(UCATECI)
	3) 任地 ラ・ベガ 首都(サント・ドミンゴ市)から 北 方向 120 Km 主要都市(サントドミンゴ市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1.6 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1983年3月に創立された大学。生徒数7000名、人文・商業・保健・技術学部を持ち、技術学部はプロジェクト部、戦略計画部、貯蓄組合部等5部が設置され、プロジェクト部の農畜プロジェクトは有機菜園・果樹園、温室栽培、農場を持ち、学生や一般市民への講義、実習を通じた有機農業の技術支援を行っている。年間予算US\$6,052,600。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 様々な働きかけから有機農業の実習を取り入れたのは、2007年からである。学生に対し実習によって習得できる圃場を持ち、野菜・果樹栽培、分析の授業を実施している。また、学生の他、農業生産者への研修、一般農民には、技術取得のための実習を取り入れた講習会も行っており、有機農業週間としたイベント開催や有機農業の知識(特に野菜栽培)を拡大したいとの背景から、協力者の要請があがった。	
	2) 期待される具体的業務内容 学生(野菜栽培/在籍数100名)や小規模篤農家(野菜栽培/近郊生産者/20名)に対する有機農業の技術普及への支援を行う。 1. 自然農業に関する知識の普及支援。 2. 有機農法に関する技術普及支援。 主な野菜はキャッサバ・サツマイモ・人参・トマト・ナス・レタス・とうもろこし・オクラ等	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 事務室、圃場	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 農学士(40代)男性、農業学士(30~40代)男性3名 農学校の生徒30名、近農村地域の生産者会員(20~50代)20名	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) スペイン語 () ()

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許() ・性別() 性別理由: ・学歴(大卒) (農学) 学歴理由: 基本的知識は必須 ・経歴(実務経歴) (4年以上) 経歴理由: 業務遂行に必要 ・有機農業に関する実務経歴 理由: 業務遂行に必要 理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(亜熱帯海洋性) 気温(18~33℃位) 電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
----------	--



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 6 月 27 日

要請番号(JL 233 - 11 - B - 01)	調査者名: 錦織 祐子
------------------------------	-------------

国名	職種 / 指導科目 (コード 1003)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
グアテ マ ラ	職種 野菜栽培 指導科目 野菜栽培	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	24 / 1
	職種(英) Vegetable Growing 指導科目(英) Vegetable Growing			2	24 / 2
	3			24 / 3	

開発課題 地域間格差の是正

1) 受入省庁名(日本語) 大統領府企画庁
 (受入機関名)(英語) Presidential Secretary of Planning and Proqraming (SEGEPLAN)

2) 配属先名 (日本語) コンセプションチキリチャパ市役所
 (英語) Municipal Office of Concepcion Chiquirichapa

3) 任地 ケツアルテナンゴ県コンセプションチキリチャパ市
 首都(グアテマラ市)から 西 方向 215 Km
 主要都市(ケツアルテナンゴ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 市民の生活改善及びインフラ整備、農業振興等を所轄する同市役所計画局が配属先となる。技術協力プロジェクト「農業技術普及体制構築計画(略称)」のモデル地域であり、同市では2名の農業技術普及員を雇用し、地域農民への農業技術指導及び生産性向上のための支援を行っている。市役所全体の年間予算は約125万米ドル。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 同市役所には2008年10月から短期協力隊員(村落開発普及員)が10ヶ月間、以後2010年7月から2年間協力隊員(村落開発普及員)が派遣されている。上記技術協力プロジェクトの活動として、市の農業技術普及員は市内10ヶ所のコミュニティーにおいてそれぞれの農民グループに対し、ジャガイモを中心とした野菜栽培指導を行っている。協力隊員はこれら普及員への活動支援や助言を行っている。今般、より生産性を高め、かつ良質な野菜栽培を目指して、土壌の質の改良(肥沃な土質に)や病虫害対策を含めた栽培技術指導支援のために隊員要請がなされた。同市はジャガイモの一大産地である。

2) 期待される具体的業務内容
 市が雇用する農業技術普及員とともに以下の活動を行う。
 ①地域農民グループの野菜栽培に関する実態把握
 ②生産性向上、収穫高向上のための具体的方策(土壌改良、病虫害対策、有機肥料の活用等)の検討、実践可能であれば、市場開拓、販売促進のための支援も行う。
 現地の栽培作物はジャガイモのほかニンジン、カリフラワー、キャベツ、インゲン豆等。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 事務用品一般

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 市計画局長(男性30代)、計画局調整員(男性40代)、農業技術普及員2名(男性20代)	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) スペイン語 () ()	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル:)
---	---	--

資格条件
 条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
 ・教諭免許() ・性別() 性別理由:
 ・学歴(専門学校卒) (業務関連分野) 学歴理由: 野菜栽培に関する専門知識が必要
 ・経験(実務経験) (3年以上) 経験理由: 野菜栽培に関する広い知識が必要
 理由:
 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(高地性寒冷) 気温(0~25℃位)	電気 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし
地域	電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし	水道 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし

平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 6 月 20 日

要請番号(JL 248 - 11 - B - 01)

調査者名: 大津 尚子

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ニカラグ ア	職種 野菜栽培 (コード 1003)	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	24 / 1	年 月 から
	職種(英) Vegetable Growing 指導科目(英)			2	24 / 2	
		3	24 / 3			

開発課題 農村における貧困削減

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 外務省 (受入機関名)(英語) Ministry of Foreign Affairs
	2) 配属先名 (日本語) NGO 人間向上委員会(INPRHU) ソモト支部 (英語) NGO Institute of Human Promotion(Somoto)
	3) 任地 マドリス県ソモト市 首都(マナグア)から 北 方向 216 Km 主要都市(マナグア)までの交通手段及び所要時間(バス で約 4 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) INPRHUはニカラグア北部を中心として国内5か所に拠点を持つNGO団体であり、INPRHUソモトはその1拠点で、活動目標を①地域住民の人権擁護、②農村における学校外教育の促進、③農村開発の3つとし、マドリス県内6市町村、約9,000家族への支援を多方面から行っている。年間平均予算は約100万ドル。その大半が欧米諸国からの援助で、主には米国、カナダ、スペインなどである。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ソモト市に隣接しているトカガマ市は人口1.5千人。同地域では農作物(トウモロコシ、豆、ソルガム)の不作が続き、その単位収量は全国平均を下回り、零細農家の家計を圧迫している。配属先では学校外教育センター・CEAR(ソモト市から約14km)にて、約110人の農家の青年たち(14~30歳)と、その家族を対象に、従来の農作物に代わる野菜栽培の指導や有機栽培についての指導を行っているが、その改善のための支援が求められており、今回の要請となった。CEARは2007年スペインの援助により建設され、10haの敷地に教育棟、宿泊棟、農場をなど備えており、その一角には直売所も併設されている。
	2) 期待される具体的業務内容 同僚指導員とともに以下の業務を行いながら、可能な範囲での助言を行う。 ①野菜(トマト・ピーマン・タマリンド・スカシメ)などの栽培について、生徒や農民達への栽培指導およびモニタリングの実施。②センター内の農場(3ha)にて、生産性の向上のための野菜や穀物の試験栽培の実施。③技術指導書の作成。④有機栽培用の肥料についての助言。⑤化学農薬削減のための栽培方法の実施。 ボランティアはソモト市に居住し、公共バスまたは配属先の車両にてCEARへ通勤。現在、農牧技術庁で行われているJICA技術協力プロジェクト「小規模農家のための持続的農業技術の普及」(2008年3月~2013年8月)との連携を図り、また上記プロジェクトの成果品を活用することも可能である。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 土壌分析用顕微鏡、机、イス、長靴、接木ナイフ、共有のノート型PC (COMPAQ, Windows7)
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル センター長: 女性40代 担当責任者: 男性50代 指導員: 女性1名(25歳)、男性2名(25歳) 学生: 14~30歳

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
	・教諭免許() ・性別() 性別理由: ・学歴 (大卒) (農学) 学歴理由: 同僚が大学卒業であるため ・経歴 () () 経歴理由: 理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車		N	×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概 地 況 域	気候(熱帯) 気温(18~32℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)
------------------	--



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 9 日

要請番号(JL 336 - 11 - B - 01)

調査者名: 清水 義朝

国名	職種/指導科目	区分	派遣希望期間	派遣希望時期	
		(長期のみ)		JOCV/SV	日系/短期等
ベネズエラ	職種 野菜栽培 (コード 1003)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	24 / 1
	指導科目			2	24 / 2
	職種(英) Vegetable Growing 指導科目(英)			3	24 / 3
					年 月 日 から

開発課題 貧困対策及び地域・社会間格差是正に資するBHNの充足

配属概要	1) 受入省庁名(日本語) NGO UMA財団 (受入機関名)(英語) NGO UMA Foundation
	2) 配属先名 (日本語) NGO UMA財団 (英語) NGO UMA Foundation
	3) 任地 ミランダ州サントス・ミチュレーナ市ラス・テヘリアス 首都(カラカス)から 南西 方向 50 Km 主要都市(ロス・テケス)までの交通手段及び所要時間(バスで約 1 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 1998年設立のNGOで、孤児や身寄りのない老人の保護等を行っている。孤児保護施設は6~12歳までを対象として15名を保護している。収容可能人数は27名。老人保護施設は孤児保護施設から数10km程離れた農場において7名を保護している。このほか、他州でも弱者支援のための様々なイベントを実施している。年間予算は約6千5百万円で、財源は企業や個人からの寄付と州からの補助金である。全職員数は40名。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
老人保護施設は、配属先が運営する15haの農場内にある。この農場では、老人の余暇活動としての家庭菜園の役割もあれば、保護老人等の食材の供給や、販売によって現金収入をもたらす役割も担っており、様々な野菜や果樹が栽培され始めている。将来的には、自給率向上とともに、近隣農家への技術指導の役割を担う、自然に調和したモデル農場にすることを希望している。現在、4名の農業担当職員がこれらの作業を行っているが、野菜栽培に関する専門教育を受けていないため、隊員の支援によって正しい栽培知識と技術の習得が期待されている。

2) 期待される具体的業務内容
① 気候、地形、土壌に適した野菜を選定し、栽培から収穫までの栽培カレンダー作成に協力する。
② 選定された野菜を実際に栽培し、同僚の栽培技術向上をめざす。
③ 堆肥や有機肥料作りの技術向上を支援する。
④ 自給自足を目的とした様々なアイデアを提案し、その実践に協力する。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
一般的農機具、大型トラクター1台(耕うん、牧草刈取の牽引有)、除草機1台。灌漑の水源有。

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 男性職員4名、年齢は20~30代。 専門教育を受けていないが、働きながら栽培技術を習得。	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) スペイン語 ()	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: D) <input type="checkbox"/> (レベル:)
---	------------------------------------	--

資格条件
条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
・ 教諭免許 () ・ 性別 () 性別理由:
・ 学歴 (大卒) (業務関連分野) 学歴理由: 指導的立場にあるため
・ 経験 (実務経験) (2年以上) 経験理由: 指導的立場にあり、実務経験は必要
理由:
理由:

活動用交通手段の必要性 ○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車	研修等	形態	現職教員特別参加制度
		N	x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
概地況 気候(温帯) 気温(15~30℃位) 電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし)
電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)

平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)

短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

記入日:平成 23 年 6 月 22 日

要請番号(JL 515 - 11- B - 21)

調査者名: 阿部 昌宏

国名	職種 / 指導科目 (コード 1003)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ケニア	職種 野菜栽培	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	24 / 2
	指導科目			2	24 / 3
	職種(英) Vegetable Growing			3	/
	指導科目(英)				年 月 日から

開発課題 ケニア その他 開発課題

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) NGO調整評議会 (受入機関名)(英語) The Non-Governmental Organisation Co-ordination Board				
	2) 配属先名 (日本語) NGO エコ エティックスインターナショナル ケニア (英語) NGO Eco-Ethics International-Kenya				
	3) 任地 コースト州クワレ県ディアニ 首都(ナイロビ)から 南東 方向 500 Km 主要都市(モンバサ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先はケニアのインド洋沿岸部住民により持続可能な自然資源利用による生計手段の確立を目的に2000年に設立された、同国第二の都市モンバサをベースとする環境・開発NGOで、自然資源管理、生計向上、環境教育、ゴミ問題関連等の様々なプロジェクトを実施中。UNDPやケニア政府開発基金(KCDF)等の支援により、2011年の年間予算は約1,500万円。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 配属先では、住民の漁獲等による沿岸部自然資源への依存軽減を目的に、野菜栽培を奨励し、4年前より、現地で入手可能な資材で建てられたビニールハウス(上面ビニール、側面ネット)を導入した。現在、ハウス栽培を軸に活動する2つの住民グループ(合計約90名)を支援する。これまでにトマトやピーマンを栽培し、路地栽培より高品質の収穫がより短期に可能であった。また、害虫防除や節水効果も確認された。今後、これら2グループの施設拡大計画、及び他のグループに対する施設導入計画がある。グループのハウス栽培技術指導、及び新たなグループの施設設置及び栽培技術指導を目的にボランティアが要請された。				
	2) 期待される具体的業務内容 ボランティアはグループに対し以下の技術を指導するとともに、販路拡大などマーケティング上の助言も期待される。またボランティアには、毎月の活動概要を配属先に書面で提出することが求められる。 ① メロン、パプリカ、イチゴ等、今後あらたに導入する品目の栽培技術指導 ② コンポスト等有機肥料づくり及び土づくり技術の指導 ③ 病虫害管理技術の指導 ④ 施設の改良と、現地で入手可能な資材の野菜栽培への導入についての助言 ⑤ ポストハーベスト技術の指導				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 コンピュータ、プリンター、コピー、プロジェクター、ビデオカメラ、電話、車両等(配属先備品)				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 配属先代表者: 30代男性(PHD社会生態学)、配属先スタッフ: 30代男性(MSCプロジェクト管理)、配属先スタッフ: 20代男性(土地資源管理)、グループメンバー: 20-60代(多くは他に定職なし)	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) スワヒリ語 () 英語 ()	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: B) <input type="checkbox"/> (レベル:)		
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許() ・性別() 性別理由: ・学歴 (大卒) (業務関連分野) 学歴理由: 配属先の一員として活動する上で必要 ・経験 (実務経験) (2年以上) 経験理由: 活動上、施設下栽培の基礎技術は必須 ・小型自動二輪以上 理由: コミュニティの巡回に必要なため 理由:				
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輛 ●単車 ○自転車				N	×
グループの内、一方は幹線道路から8キロほど離れ、公共交通機関の利用が困難のため					
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概 況	気候(高温多湿) 気温(20~35℃位) 電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		
地 況	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)				



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)

短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 13 日

要請番号(JL 551 - 11 - B - 13)

調査者名: 穴田 拓治

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ザンビア	職種 野菜栽培 (コード 1003)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	24 / 1
	指導科目			2	24 / 3
	職種(英) Vegetable Growing 指導科目(英)			3	/
					年 月 日から

開発課題 小規模自給農家の自立発展

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業協同組合省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Cooperatives
	2) 配属先名 (日本語) ルウイング郡農業事務所 (英語) Luwingu District Agricultural Coordinator's Office
	3) 任地 北部州ルウイング 首都(ルサカ)から 北 方向 1030 Km 主要都市(カサマ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先である郡農業事務所はルウイング郡の農業行政を司っている。郡農業調整官のもと、普及、作物、畜産、水産、灌漑、市場等の現地専門家が配置され、主任農業官、農業普及員による農民への支援を行っている。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同郡では、農業協同組合省とJICAとの共同プロジェクトで開発された参加型村落手法を用いた村落開発を目的とする。後続プロジェクト「農村振興能力向上プロジェクト(RESCAP)」が展開されている。同プロジェクトでは普及員が中心となって村人自身による生活向上のための小規模なプロジェクト(マイクロプロジェクト)の実施、管理、モニタリングの支援ならびに生活改善等が行われている。しかし現地農業普及員のみでは、農民の能力向上を図るにはまだまだ不十分な面もあるため、主任農業官SAOの指揮の下、現地普及員と共に協力し、対象地域にて野菜栽培の指導を中心に普及員の業務支援に携わる。
	2) 期待される具体的業務内容 JICAプロジェクト専門家と必要に応じて情報共有を行ないながら、郡農業事務所主任農業官の指揮の下、主に農業普及員とともに以下の活動を行う ①対象地域における野菜栽培技術の現状および課題の調査 ②調査に基づいた、対象地域における今後の展開計画の策定 ③対象地域におけるマイクロプロジェクトの技術的支援および参加型ワークショップの実施 また、必要に応じて郡農業事務所の業務支援を行う。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 機、椅子、その他事務用品

資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 郡農業調整官 男性 主任農業官および普及員 (25歳~50歳) 大卒レベル プロジェクトサイトの農民	5) 業務使用言語 (訓練言語は上段) 英語 () その他 (ベンバ語)	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (V/N: C) <input type="checkbox"/> (V/N:)
------------------	--	--	--

条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
・ 教諭免許 () ・ 性別 () 性別理由: ・ 学歴 () () 学歴理由: ・ 経験 (実務経験) (2年以上) 経験理由: 普及員と共に農民へ技術指導を行うため 理由: 巡回先が広範囲に点在するため 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輛 ●単車 ○自転車			X

巡回指導には単車が必要

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(サバンナ) 気温(5~35℃位) 電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)

平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 6 月 13 日

要請番号(JL 551 - 11 - B - 15)

調査者名: 穴田 拓治

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ザンビア	職種 野菜栽培 (コード 1003)	◎ 新規 ○ 交替 代目	◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	24 / 1	年 月 から
	職種(英) Vegetable Growing 指導科目(英)			2	24 / 3	
		3	/			

開発課題 小規模自給農家の自立発展

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業協同組合省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Cooperatives
	2) 配属先名 (日本語) チンサリ郡農業事務所 (英語) Chinsari District Agricultural Coordinator's Office
	3) 任地 北部州チンサリ 首都(ルサカ)から 北 方向 860 Km 主要都市(ムピカ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 3 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先である郡農業事務所はチンサリ郡の農業行政を司っている。郡農業調整官のもと、普及、作物、畜産、水産、灌漑、市場等の現地専門家が配置され、主任農業官、農業普及員による農民への支援を行っている。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同郡では、農業協同組合省とJICAとの共同プロジェクトで開発された参加型村落手法を用いた村落開発を目的とする、後続プロジェクト「農村振興能力向上プロジェクト(RESCAP)」が展開されている。同プロジェクトでは普及員が中心となって村人自身による生活向上のための小規模なプロジェクト(マイクロプロジェクト)の実施、管理、モニタリングの支援ならびに生活改善等が行われている。しかし現地農業普及員のみでは、農民の能力向上を図るにはまだまだ不十分な面もあるため、主任農業官SAOの指揮の下、現地普及員と共に協力し、対象地域にて野菜栽培の指導を中心に普及員の業務支援に携わる。	
	2) 期待される具体的業務内容 JICAプロジェクト専門家と必要に応じて情報共有を行ないながら、郡農業事務所主任農業官の指揮の下、主に農業普及員とともに以下の活動を行う ①対象地域における野菜栽培技術の現状および課題の調査 ②調査に基づいた、対象地域における今後の展開計画の策定 ③対象地域におけるマイクロプロジェクトの技術的支援および参加型ワークショップの実施 また、必要に応じて郡農業事務所の業務支援を行う。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 机、椅子、その他事務用品	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 郡農業調整官 男性 主任農業官および普及員 (25歳~50歳) 大卒レベル プロジェクトサイトの農民	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 () その他 (ベンバ語)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許() ・性別() 性別理由: ・学歴() () 学歴理由: ・経験(実務経験) (2年以上) 経験理由: 普及員と共に農民へ技術指導を行なうため 理由: 巡回先が広範囲に点在するため 理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
◎有 ○無 ○車輦 ◎単車 ○自転車			×

巡回指導には単車が必要
 * 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(サバンナ) 気温(5~35℃位) 電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
-----	--



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)

短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 28 日

要請番号(JL 609 - 11 - B - 04)

調査者名: 三宮 美樹

国名	職種 / 指導科目 (コード 1003)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
ガボン	職種 野菜栽培	○新規	●2年	1	24 / 1	
	指導科目			○1年	2	24 / 2
	職種(英) Vegetable Growing				○ヶ月	3
	指導科目(英)	2代目			年 月 から	

開発課題 ガボン その他 開発課題

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 農業・牧畜・漁業・地方開発省 (受入機関名)(英語) Ministru of Agriculture, breeding, Fishery and Rural Development
	2) 配属先名 (日本語) カンゴ農業支局 (英語) Agricultural Center of KANGO
	3) 任地 エスチュエール州 コモ郡 カンゴ市 首都(リーブルビル)から 東 方向 100 Km 主要都市(カンゴ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 3 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) カンゴ農業局は、野菜栽培の普及を目指し、なす、キャベツ、ピーマン(辛い品種)、トマトなどの苗床を乾季(6月~8月)に作り、農業を志す住民に対して提供をしている。同配属先には、23年度8次隊が現在派遣中となっている。年間予算は20万円弱。同じカンゴ市内には、現在水産支所配属のボランティアが活動中。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同国の食糧自給率は低く、穀物、野菜、肉類なども隣国を含む外国からの輸入に頼っており、農業開発も重要課題の一つとなっている。現在は、バナナやキャッサバといった、伝統的な食用作物が主流だが、野菜の栽培は大規模に行なわれておらず、輸入食品が届かない内陸部では、野菜の入手が困難な状況である。地域の野菜栽培活性化を目指し、農業局が配置されており、隊員はそこへの配属となる。隊員は同配属先が栽培をしていない品種の野菜の栽培、コンポストの作り方など、持ち合わせている知識・経験を生かした活動が期待されている。	
	2) 期待される具体的業務内容 ○配属先の苗床作りに協力する。 ○コンポストの作り方を指導し、品質の高い野菜作りを目指す。 ○野菜栽培に興味のある住民を発掘し、自家消費が出来るように支援する。 ○野菜作りセミナーを開催し、野菜栽培の魅力を伝える。 同性隊員と同居となる可能性がある。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 スコップ、くわ、なたなど	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 所属長 男性 50歳代 秘書 女性 40歳代 労働者 男性 2人 30~40歳代	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) フランス語 () ()

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許() ・性別() 性別理由:	・学歴(大卒) (農学) 学歴理由: 活動に必要な知識のため
	・経歴() () 経歴理由:	理由:
		理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(熱帯雨林) 気温(22-32℃位)	電気(☑安定 ☐不安定 ☐なし)
電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし)		水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)

平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)

短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

記入日:平成 23 年 6 月 29 日

要請番号(JL 609 - 11- B - 05)

調査者名: 三宮 美樹

国名	職種 / 指導科目 (コード 1003)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ガボン	職種 野菜栽培	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	24 / 1
	指導科目			2	24 / 2
	職種(英) Vegetable Growing			3	/
	指導科目(英)				年 月 日から

開発課題 ガボン その他 開発課題

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業・牧畜・漁業・地方開発省 (受入機関名)(英語) Ministru of Agriculture, breeding, Fishery and Rural Development
	2) 配属先名 (日本語) オグエ・ロロ州農業支局 (英語) Agricultural Center of Ogooue Lolo Province
	3) 任地 オグエ・ロロ州クラムトゥ市 首都(リーブルビル)から 南東 方向 621 Km 主要都市(クラムトゥ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 11 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は、野菜栽培の普及を目指し、なす、キャベツ、レタス、ピーマン(辛い品種)、トマトなどの苗床を乾季(6月~8月)に作り、農業振興をしている。配属先スタッフも農場において、収穫までの一連の栽培を通じ農民に技術指導を行なっている。同配属先には、初代隊員として23年度8次隊が派遣中。年間予算は33万円。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同国の食糧自給率は低く、穀物、野菜、肉類なども隣国を含む外国からの輸入に頼っており、農業開発も重要課題の一つとなっている。現在は、バナナやキャッサバといった、伝統的な食用作物が主流だが、野菜の栽培は活発ではなく、輸入食品が届かない内陸部では、野菜の入手が困難な状況である。地域の野菜栽培活性化を目指し、農業局が配置されており、隊員はそこへの配属となる。隊員は同配属先が栽培をしていない品種の野菜の栽培、コンポストの作り方など、持ち合わせている知識・経験を生かした活動が期待されている。	
	2) 期待される具体的業務内容 ○配属先の農場において、野菜栽培の指導や助言をする。 ○コンポストの作り方を指導し、品質の高い野菜作りを目指す。 ○野菜栽培に興味のある住民を発掘し、自家消費が出来るように支援する。 ○新規野菜の導入を試みる。 ○野菜作りセミナーを開催し、野菜栽培の魅力を伝える。 同性隊員と同居となる可能性がある。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 スコップ、くわ、なた、肥料など	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 所属長 男性 50歳代 その他同僚 30名	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) フランス語 () ()

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許() ・性別() 性別理由:	理由:
	・学歴() () 学歴理由:	理由:
	・経験(実務経験) (2年以上) 経験理由: 農業(野菜栽培)経験が活動上必要	理由:
		理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概 況	気候(熱帯雨林) 気温(22-32℃位) 電気(☒安定 ☐不安定 ☐なし)
地 域	電話(☒インターネット可 ☒通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☒安定 ☐不安定 ☐なし)



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 6 月 15 日

要請番号(JL 621 - 11 - B - 02)	調査者名: 加藤 聡子
------------------------------	-------------

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
マリ	職種 野菜栽培 (コード 1003)	○新規 ◎交替 2代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	24 / 3
	指導科目			2	/
	職種(英) Vegetable Growing			3	/
	指導科目(英)				
					年 月 日 から

開発課題 持続的な自然資源管理による総合農村開発

配属概要	1) 受入省庁名(日本語) 農業省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture
	2) 配属先名 (日本語) セグー州農業局 (英語) Direction of Agriculture in Segou Region
	3) 任地 セグー州セグー県シンザナ市 首都(バマコ)から 北東 方向 275 Km 主要都市(バマコ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 4 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農業省の地方機関であるセグー州農業局は管轄地域内の農業生産向上、技術改良に関する活動を行っている。各県・市レベルにおいても農業普及員を配置し、農民への支援を行っている。同局ではJICAの開発調査および日本の見返り資金による砂漠化防止を目的とした持続的農村開発モデルの開発および展開を行ってきた(2000~2010年)。2008年にはJICA専門家が派遣された。局の予算は年間約7千万円である。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) セグー州農業局が中心となって進めている砂漠化防止プロジェクトでは、識字教室、井戸、家畜用ワクチン接種場、穀物倉庫など村落インフラ整備を始め、住民組織による野菜栽培、植林、マイクロクレジット、識字教育など生活改善に資する活動が行われている。現在もJICAの協力により養成された普及員が現地地で活動しており、ボランティアはこれら普及員とともに、これまでの成果を定着させることが期待されている。同地には村落開発普及員、野菜、植林隊員が配置されている。前任者はこれら隊員と協力しながら女性グループへの野菜栽培技術指導を中心に活動を行っている。
	2) 期待される具体的業務内容 配属先管轄市のひとつであるシンザナ市の村を対象地域とし、市役所および農業普及員とともに巡回による以下の活動を実施する。 ①女性グループを対象に、乾季野菜(トマト、キャベツ、ナス、ニンジン、サラダ菜、玉ねぎ)および雨季野菜(オクラ、トマト)の栽培方法を改善し、生産性の向上に貢献する。 ②女性が集まる場を利用して、野菜の栄養的価値について啓発を行う。 ③農業局の提供する試験圃場にて有効な栽培方法や新種の野菜を住民に紹介する。 同性隊員と同居となる可能性がある。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 特になし

資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚: 市農業技術師 男性 40代 市農業普及員 男性 40代 女性 30代 指導対象者: 農民	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) フランス語 () その他 (バンバラ語)	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: D) <input type="checkbox"/> (レベル:)
------	---	--	--

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許 () ・性別 () 性別理由: ・学歴 () () 学歴理由: ・経験 (実務経験) (2年以上) 経験理由: 指導を行うため 理由: 理由:
------	--

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
◎有 ○無 ○車輛 ○単車 ◎自転車		P	x

近隣村への巡回指導のため

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(サバンナ北スーダン) 気温(15-45℃位) 電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input checked="" type="checkbox"/> なし)
-----	---

平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 6 月 24 日

要請番号(JL 642 - 11 - B - 02)

調査者名: 杉野 和也

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
セネガル	職種 野菜栽培 (コード 1003)	○新規 ◎交替 2 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	24 / 1	
	指導科目			2	24 / 2	
	職種(英) Vegetable Growing 指導科目(英)			3	24 / 3	
年 月 日から						
開発課題 村落開発						
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture					
	2) 配属先名 (日本語) 地方農村開発局リンゲール県事務所 (英語) Linguere Rural Development Service					
	3) 任地 ルーガ州リンゲール県リンゲール市 首都(ダカール)から 北東 方向 305 Km 主要都市(ルーガ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 2.5 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同配属先には、防除の指導・研究、種子の改良・選定・普及、生産・流通面や農家の経営に関する統計を行う3つの部署があり、農業・農家の情報収集を行いつつ、村落部住民への穀物・野菜の種子の提供や技術指導などを行っている。その他管轄域内にはJICA「農村自立発展プロジェクト」のモデルサイトが存在する。『米国ピースコー』が数代にわたり派遣されている。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同地域では政府による野菜栽培支援が行われているが、厳しい乾燥気候と水不足等により継続や定着には困難が見られる。そのような中、日本などの援助で村落給水施設整備が進められ、安全な水の安定供給が整備されてきており、これを土台とした生活向上の一環として野菜栽培を始めたいと望む村落住民は少なくないため、彼らを継続的に支援し、野菜栽培の普及に取組む人員増強の必要から要請に至った。地域の土壌は砂・粘土質であるが、農民の多数は堆肥・土作りが定着しておらず病虫害が多く、持続的な野菜栽培を困難にしているため、前任者は村落部を巡回しながら、それらを改善できる栽培技術の普及に取り組んでいる。					
	2) 期待される具体的な業務内容 配属先と相談して活動地を選び、村落部住民グループ、女性グループ、家庭菜園希望者、学校菜園希望校等を対象に以下の活動を行う。 ①ともに野菜栽培に関わりながら、技術的な助言や協力を行う。 ②堆肥を利用した野菜栽培の普及を行う。 ③JICAプロジェクトのモデルサイトであるンギッチ村(任地より4km)での水管理組合による節水型野菜栽培を参考にし、その普及を行う。 同性JOCVと同居の可能性がある。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 配属先車両、パソコン、インターネット等が配属先の予算および業務が許す範囲内で利用可能。					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 配属先: 所長1名(男性50代)、秘書1名、車両運転手1名 指導対象: 配属先の要望で前任者は、市内周辺地域では農家、村落部では女性グループを対象にしている。		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) フランス語 () その他 (ウオロフ語) ()			6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル:)
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許() ・性別() 性別理由: ・学歴()() 学歴理由: ・経験(実務経験)(2年以上) 経験理由: 野菜栽培の指導を行うため 理由: 任地周辺村落部での活動であるため 理由:					
活動用交通手段の必要性				研修等	形態	現職教員特別参加制度
◎有 ○無 ○車輛 ◎単車 ○自転車						×
任地周辺村落部での活動であるため						
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)						
概地域況	気候(ステップ) 気温(20~50℃位)		電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	
電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)						



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 6 月 23 日

要請番号(JL 642 - 11 - B - 07)	調査者名: 三木 典依
------------------------------	-------------

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
セネガル	職種 野菜栽培 (コード 1003)	○ 新規 ● 交替 2 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	24 / 1
	指導科目			2	24 / 2
	職種(英) Vegetable Growing			3	24 / 3
	指導科目(英)				

開発課題 基礎社会サービスの向上

1) 受入省庁名(日本語) 地方分権・自治省
 (受入機関名)(英語) Ministry of decentralisation and local collectivities

2) 配属先名 (日本語) クンペントゥーム県農村開発支援事務所
 (英語) Prefectural support office of local development Koumpentoum

3) 任地 タンバクンダ州クンペントゥーム県
 首都(ダカール)から 南東 方向 360 Km
 主要都市(タンバクンダ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 2 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 クンペントゥーム県での地域開発を統括する地方行政機関である。地域の人口、経済などの開発統計情報のとりまとめを行うと同時に、各技術支局と村落住民(組織)との調整業務を担当している。主な業務は①技術省庁の出先機関(農業、畜産、保健衛生など)の技官と地域住民(及び住民組織)との調整、②地域コミュニケーション活動への支援(社会開発、各種経済活動など)を行っている。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 タンバクンダ州ではJICA技術協力プロジェクトによる「安全な水とコミュニティ活動支援計画2」が実施され、いくつかの対象村落において住民主体による給水施設の維持管理体制の構築を行うと共に、地域住民の生活向上に向けた多様なコミュニティ活動への支援がなされてきた。それらの知見を活かし前任者は、村落部において野菜栽培の技術的支援、女性グループへの研修会開催のほか、他のJOCVと連携して学校菜園や衛生啓発活動を行っている。

2) 期待される具体的業務内容
 ①村落住民(女性グループほか)に対して野菜栽培の技術的支援
 ②元JICAプロジェクト活動村(メレット村など)において、野菜栽培などのフォローアップ
 ③生活の向上(栄養改善、野菜栽培に親しむ)を目的に、学校菜園の導入、普及を行う。

同任地に派遣されているJOCV(看護師、村落開発普及員)と協力することで、より効果的な活動になることが期待されている。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 机、椅子、その他事務用品

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル センター長(男性 40代)、地域担当職員(女性 30代) その他外部協力者 森林局事務所、農業技官、畜産技官、衛生技官など	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) フランス語 () その他 (ブール語)	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル:)
--	--	--

条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)

- ・教諭免許 () ・性別 () 性別理由:
- ・学歴 () () 学歴理由:
- ・経験 (実務経験) (2年以上) 経験理由: 業務上必須
- ・小型自動二輪以上 理由: 村落巡回型の活動のため
- 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輛 ●単車 ○自転車			x

村落巡回型活動のため
 * 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (○:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況 気候(ステップ) 気温(20~45℃位) 電気(□安定 不安定 □なし)
 電話(インターネット可 通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 不安定 □なし)



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)

短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号 松元

記入日:平成 23 年 7 月 27 日

要請番号(JL 006 - 11 - B - 09)

調査者名: 末満広志

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
	(コード 1004)			JOCV/SV	日系/短期等
インドネ シア	職種 果樹栽培	◎ 新規 ○ 交替 代目	◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	24 / 1
	指導科目			2	24 / 2
	職種(英) Fruit Growing			3	24 / 3
	指導科目(英)				年 月 から
開発課題 地域開発					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture				
	2) 配属先名 (日本語) バンタイン県農業局 (英語) Bantaeng Local Government, Agriculture Office				
	3) 任地 南スラウェシ州バンタイン県 首都(ジャカルタ)から 東 方向 1300 Km 主要都市(マカッサル)までの交通手段及び所要時間(バス で約 3 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 南スラウェシ州南部に位置する同県は、州内で最も小さい県で、人口18万人、その75%が農業に従事、県収入のほとんどが農産物(一部海産物)という農業県である。2008年より就任した現在の県知事の指示の下、県の収入を増やすべく、果実、野菜等の品質向上への取り組みを開始、新知事就任後、県収入は1.5倍に伸びた。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 県では、新たな農産物の導入も実施しており、果物についてはリンゴ、イチゴの試験栽培を開始した。特にリンゴについては、当国東ジャワ州より2010年に1万本の苗木を購入した。2011年には新たに2万本の購入を予定しており、今後さらに栽培本数を増やす計画である。 今般、リンゴ農家の技術や知識の向上のため、隊員の派遣を要請された。				
	2) 期待される具体的業務内容 標高約1,400mの農村(リンゴ農家軒数:約30軒)に居住し、農民グループとともに以下の活動を行う。 ①リンゴの栽培技術指導(剪定、整枝、施肥、摘果等) ②リンゴの苗木栽培指導 ③収穫したリンゴの販売促進への協力				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 一般的な農機具等				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 農民グループリーダー: 男性、30代 その他、農民グループ農家		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) インドネシア語 ()		
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許() ・性別() 性別理由: ・学歴() () 学歴理由: ・経験(実務経験)(2年以上) 経験理由: 配属先要請による。 理由: 配属先要請による。 理由:				
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輦 ○単車 ○自転車					×
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a.エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概地域況	気候(熱帯雨林) 気温(15~25℃位)		電気 <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし		
	電話 <input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし		水道 <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし		



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号 安斎

記入日:平成 23 年 7 月 29 日

要請番号(JL 763 - 11 - B - 11)

調査者名: 田口 信二

国名	職種 / 指導科目 (コード 1004)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ウズベキ スタン	職種 果樹栽培	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	24 / 1
	指導科目			2	24 / 2
	職種(英) Fruit Growing 指導科目(英)			3	24 / 3
				年 月 日	から

開発課題 農業改革・地域開発

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業水資源省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Water Resources
	2) 配属先名 (日本語) 園芸研究所フェルガナ支部 (英語) Ferghana Branch of the Research and Development Institute for Horticulture
	3) 任地 フェルガナ州クバ郡 首都(タシケント)から 南東 方向 300 Km 主要都市(フェルガナ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 支部は国立果樹研究所の支部であるが、経営的には独立採算制である。主な収入源は、果樹苗木の販売収入と貸出農地や独自農場からの売上収入であるが、今後は農家への果樹栽培技術指導の有料化も考えられている。職員20名、農場従業員350名、研究所の敷地面積730ha、その内560haが果樹園である。同支部を対象として、2011年3月までJICA草の根技術協力「フェルガナ州果樹栽培技術向上計画」が実施中である。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
フェルガナ州における果樹栽培は、綿花栽培と並ぶ主要産業のひとつであるが、旧ソ連時代の栽培方法がそのまま引き継がれ、新しい栽培技術の導入や品種改良は非常に立ち遅れている。現在、JICA草の根技術協力により、同研究所内のモデル果樹園を中心にモモやリンゴの新品種導入、剪定・摘果技術指導、木酢液散布による病害虫防除等の指導が行われているが、同技術協力は2011年で終了する。ボランティアは同技術協力の日本側支援機関と連携・協力しながら、日本の先進的な果樹栽培技術の導入・定着を促進することが求められている。

2) 期待される具体的業務内容
草の根技術協力の日本側支援機関である福島県伊達市の各種関係組織と連携・協力しながら、リンゴとモモを中心とした果樹栽培技術の向上をめざす。技術指導の範囲は広範囲にわたるが、以下の様な業務内容が考えられる。
1. 剪定、摘果、摘蕾
2. 木酢液の製造及び木酢液を利用した病害虫防除
3. 土壌改良
4. 収穫処理、流通販売の改善

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
リンゴ、アズキ、モモ、サクランボ、マルメロ等の農場、苗畑は十分にある。一部温室設備もあり。実験室はあるが、機材は老朽化しており現状では使用不可能。草の根技協により木酢液製造装置が設置されている。

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 研究所技術職員(男性約10名、30~50歳代) 農場従業員(男女、多数)	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) ウズベク語 () ()	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: D) <input type="checkbox"/> (レベル:)
---	---	--

資格条件
条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
・ 教諭免許() ・ 性別() 性別理由:
・ 学歴(大卒) (農学) 学歴理由: 専門知識が必要なため
・ 経歴(実務経歴) () 経歴理由: 応用力が必要なため
理由:
理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
概地域 気候(ステップ) 気温(-20℃~40℃位) 電気(□安定 不安定 □なし)
電話(インターネット可 通話可 不良 なし) 水道(□安定 不安定 □なし)

平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号 土居
--------	---------



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JVA ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

記入日:平成 23 年 7 月 22 日

要請番号(JL 048 - 11- B - 20)

調査者名:桑園 いづみ

国名	職種/指導科目 (コード 1006)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ブータン	職種 きのこ栽培	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	24 / 1
	指導科目			2	24 / 2
	職種(英) Mushroom Culture			3	24 / 3
	指導科目(英)				年 月 から

開発課題 農業の近代化

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農林省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Forests				
	2) 配属先名 (日本語) 国立きのこセンター (英語) National Mushroom Centre				
	3) 任地 イエシバン 首都(ティンブー)から 東 方向 15 Km 主要都市(ティンブー)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先はブータン唯一のきのこセンターである。当センターでは主に、①農民へのきのこ栽培や技術指導、②当センターで栽培した菌糸を農家へ供給、③野生きのこの収集や分類を行なっている。年間事業予算は約1100万円。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ブータンには沢山の食用きのこが存在するが、きのこに関する高い専門知識と経験を持った人材が少なく、椎茸やしめじ以外の菌糸栽培が殆ど実施されていない。当センターで多種の菌糸栽培技術が行える事や農民の栽培知識、技術の定着を図ることが出来れば、きのこ栽培農家の所得向上につなげる事ができる。				
	2) 期待される具体的業務内容 ・同僚へ効果的な菌糸の栽培、保存維持管理指導を行う ・菌糸栽培に関する器具、機械操作の指導を行なう ・きのこ栽培農家への栽培方法や技術指導を行う ・市場調査を実施し、市場価値のあるきのこの選定を行う				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 オートクレーブ、簡易型クリーンベンチ、他実験器具一式				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 男性3名(20代-40代、短期大学農学部卒)	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 () その他 (ゾンカ語)	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル:)		
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許() ・性別() 性別理由: ・学歴()() 学歴理由: ・経験(実務経験)(5年以上) 経験理由: 同僚や農民への指導のため 理由: 理由:				
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車					x
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概地域	気候(温暖(冬は寒冷)) 気温(-5~30℃位)		電気 <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし		
況域	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし		



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号 三義

記入日:平成 23 年 7 月 27 日

要請番号(JL 315-11-B-04)

調査者名: 綿引 純男

国名	職種/指導科目 (コード 1101)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
コロンビア	職種 病虫害対策	● 新規	● 2 年	1	24 / 1	
	指導科目			○ 1 年	2	24 / 2
	職種(英) Disease and Pest Control				3	24 / 3
ア	指導科目(英)	○ 交替 代目	○ ヶ月		年 月 から	

開発課題 紛争の構造的要因の低減

配属概要	1)受入省庁名(日本語) コロンビア農牧庁キンディオ県支局 (受入機関名)(英語) Agricultural Institute of Colombia, Section of Quindio
	2)配属先名 (日本語) コロンビア農牧庁キンディオ県支局 (英語) Agricultural Institute of Colombia, Section of Quindio
	3)任地 キンディオ県アルメニア市 首都(ボゴタ市)から 西 方向 316 Km 主要都市(アルメニア市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農牧水産業に関する病気予防、検疫、食品衛生監理などを実施する国立の機関。首都サンタ・フェ・デ・ボゴタ市に本部事務所、各県に32の支局を持つ。

要請概要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) アルメニアの主要農産物であるプラタノ(調理用バナナ)は、細菌による病気が頻発している。配属先では農民に対し、病気株が発生した場合は周辺株へ感染を防ぐため、病気株への接近を避け、病気株の半径5mの所に溝を掘るよう指導している。しかし、配属先は、病気発生予防策を有しておらず、病気の予防策と病気発生時の適切な対処方法を新たな課題としている。なお、JICAは、コロンビア農牧研究公社(CORPOICA)と2005年から2009年まで「食用バナナ病害の総合的管理プロジェクト」を実施し、配属先職員はこのプロジェクトへ参加もしている。	
	2)期待される具体的業務内容 1. コロンビア農牧研究公社(CORPOICA)に派遣中のシニア海外ボランティア等と情報交換・収集し、プラタノの病気の特徴を調べ、病気発生予防策を同僚とともに考案する。 2. 病気発生時の対応策について、より効果的な対策を同僚とともに試行する。 3. プラタノ以外にも、バナナ、柑橘類、植林樹などの病気についても上記のような協力を行う。 4. 任地のアルメニア以外の周辺支局においても、上記のような支援活動を行う。	
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 植物病理関連機材は近隣のカルダス県支局に備えられているが、必要に応じて配属先にも顕微鏡、その他の機材を備える用意がある。	
資格条件	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 30歳代女性の農学士。日系三世だが日本語は話せない。農業一般の知識はあるが、植物病理関連の知識は乏しい。	5)業務使用言語(訓練言語は上段) スペイン語 () ()
	6)選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル:)	

条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
 ・教諭免許() ・性別() 性別理由:
 ・学歴(修士) (業務関連分野) 学歴理由: 同僚以上のレベルが求められた
 ・経歴() () 経歴理由:
 ・理由:
 ・理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (○:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
概地域 気候(温帯) 気温(15~30℃位) 電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)

平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

記入日:平成 23 年 6 月 27 日

要請番号(JL 545 - 11 - B - 05)

調査者名: 佐藤 宏美

国名	職種 / 指導科目 (コード 1101)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ウガンダ	職種 病虫害対策	◎ 新規 ○ 交替 代目	◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	24 / 1
	指導科目			2	24 / 2
	職種(英) Disease and Pest Control			3	24 / 3
	指導科目(英)				年 月 から

開発課題 農業近代化促進

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業畜産水産省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture, Animal Industry and Fisheries
	2) 配属先名 (日本語) 国立作物資源研究所 (英語) National Crops Resources Research Institute
	3) 任地 ワキソ県ナムロンゲ 首都(カンバラ)から 北 方向 25 Km 主要都市(カンバラ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.8 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農業分野の研究・技術開発を担う国家農業研究機構(NARO)の傘下にある作物資源研究所は食用作物全般の研究実施機関である。JICAは2004年6月から個別専門家を継続的に派遣、2008年からはコメ振興プログラムのもと「ネリカ米振興プロジェクト」を開始、研究所においてネリカの品種試験、研修や種子の配付を通じた普及活動を展開してきた。2011年秋には新たなコメ振興プロジェクトが開始予定である。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ウガンダは、サブサハラアフリカ諸国の中でも米の栽培が急速に拡大した国の一つである。CARD(アフリカ稲作振興のための共同体)もサブ・サハラアフリカの米生産を2017年までに倍増させることを目標に掲げ、一層の稲作普及が求められている。JICAは2008年より「コメ振興プログラム」を開始し、専門家と協力しながらウガンダへの稲作栽培技術移転を目指している。研究所スタッフへの適正な栽培方法の指導が求められることから長期隊員の派遣が要請された。	
	2) 期待される具体的業務内容 ① 病害虫の発生動向調査の実施 ② 農家圃場においてネリカ米や水稲品種がどの病虫害に抵抗力があるのか実証試験を実施する ③ ウガンダ各地で稲作に関する活動を行っている隊員への病虫害対策に関する技術的支援	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 試験・実験機材一式	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 現在米の研究を行っているCereal Programには総勢8名のResearcherがいる。	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 () その他 (ガンダ語))

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
	・ 教諭免許() ・ 性別() 性別理由: ・ 学歴 (大卒) (農学) 学歴理由: 栽培試験等を行うため ・ 経験 () () 経験理由: 理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
◎有 ○無 ○車輛 ◎単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概 地 況 域	気候(亜熱帯) 気温(20-30℃位) 電気(□安定 ☒不安定 □なし)
	電話(□インターネット可 ☒通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☒不安定 □なし)



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)

短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 15 日

要請番号(JL 621 - 11 - B - 03)

調査者名: 加藤 聡子

国名	職種 / 指導科目 (コード 1102)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
マリ	職種 土壤肥料	○ 新規	◎ 2 年	1	24 / 3	
	指導科目			○ 1 年	2	/
	職種(英) Soils and Fertilisers				3	/
	指導科目(英)	○ 2 代目	○ ヶ月		年 月 から	

開発課題 持続的な自然資源管理による総合農村開発

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 農業省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture
	2) 配属先名 (日本語) セグー州農業局 (英語) Direction of Agriculture in Segou Region
	3) 任地 セグー州セグー県シンザナ市 首都(バマコ)から 北東 方向 275 Km 主要都市(バマコ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 4 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農業省の地方機関であるセグー州農業局は管轄地域内の農業生産向上、技術改良に関する活動を行っている。各県・市レベルにおいても農業普及員を配置し、農家への支援を行っている。同局ではJICAの開発調査および日本の見返り資金による砂漠化防止を目的とした持続的農村開発モデルの開発および展開を行ってきた(2000~2010年)。2008年にはJICA専門家が派遣された。局の予算は年間約7千万円である。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) セグー州農業局が中心となって進めている砂漠化防止プロジェクトでは、識字教室、井戸、家畜用ワクチン接種場、穀物倉庫など村落インフラ整備を始め、住民組織による野菜栽培、植林、マイクロクレジット、識字教育など生活改善に資する活動が行われている。現在もJICAの協力により養成された普及員が現地で活動しており、ボランティアはこれら普及員とともに、これまでの成果を定着させることが期待されている。同地には野菜栽培、土壤肥料、植林隊員が配置されている。同地には村落開発普及員、野菜、植林隊員が配置されている。前任者はこれら隊員と協力し、現地で利用できる材料を使った有機肥料の作成および農家への指導を行っている。
	2) 期待される具体的業務内容 配属先管轄市のひとつであるシンザナ市の村を対象地域とし、市役所および農業普及員とともに巡回による以下の活動を実施する。 ① 現地の材料を使って質の良い、安価な堆肥を作成する。 ② 農家とともに畑内で比較実験を行い、食用作物の生産向上を目指した堆肥の普及へ繋げる。 ③ 野菜隊員と連携し、農業局の提供する試験圃場を利用し住民向けの有機肥料の紹介を行う。 同性隊員と同居となる可能性がある。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 特になし

要	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 同僚: 市農業技術師 男性 40代 市農業普及員 男性 40代 女性 30代 指導対象者: 農民	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) フランス語 () その他 (バンバラ語)	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: D) <input type="checkbox"/> (レベル:)
---	---	--	--

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
	・ 教諭免許 () ・ 性別 () 性別理由: ・ 学歴 (大卒) (業務関連分野) 学歴理由: 業務遂行上必須 ・ 経験 () () 経験理由: 理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
◎有 ○無 ○車輦 ○単車 ◎自転車		P	x

近隣村への巡回指導のため

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況 気候(サバンナ北スーダン) 気温(15-45℃位) 電気(安定 不安定 なし)
電話(インターネット可 通話可 不良 なし) 水道(安定 不安定 なし)



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)

短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 13 日

要請番号(JL 551 - 11 - B - 18)

調査者名: 穴田 拓治

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ザンビア	職種 農業土木 (コード 1201)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	24 / 1	年 月 から
	職種(英) Agricultural Civil Engineering			2	24 / 3	
指導科目(英)	3	/				
開発課題 小規模自給農家の自立発展						
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業協同組合省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Cooperatives					
	2) 配属先名 (日本語) ムピカ農業短期大学 (英語) Zambia College of Agriculture Mpika					
	3) 任地 北部州ムピカ 首都(ルサカ)から 北 方向 670 Km 主要都市(ムピカ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ムピカの中心部から約20Km離れた広大な敷地内に農園、農場、重機整備作業場等を構えた、講師数約15名、生徒数約200名の2年制および3年制の農業短期大学。学生は、畜産、作物、農業工学、水工学、土壌科学、農業経営等の理論、実践を学んでいる。また生産部門においては乳製品、鶏、豚、牛の肉等を取り扱っている。過去に農業共同組合隊員が配属されており、農業経済学の授業を担当していた。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ザンビアの農業短期大学では、優秀な人材が民間に流出したり、海外に留学したりと講師の絶対数が不足しておりボランティアは、一講師として水工学部門において座学および実技の授業を受け持つ他、過去に他国の支援によって整備された敷地内の農場にある小規模灌漑、排水施設が現在十分に機能していないため、設備のメンテナンスに関するアドバイスも求められる。					
	2) 期待される具体的業務内容 同僚講師とともに以下の活動を行う ①水工学に関する授業の実施 ②卒業研究の指導 ③水工学の授業に関する実施要領の見直し、改訂作業の実施 ④敷地内にある農場の灌漑、排水設備のメンテナンスに関するアドバイス また、積極的に同僚講師、上司と技術情報の共有を行う。					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 OHP、ビデオデッキ、黒板、ホワイトボード、ノートパソコン、プロジェクター、机、椅子、その他事務用品					
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 校長、副校長(男性) 同僚講師(25歳~50歳) 大卒レベル 学生(高卒レベル)		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 () その他 (ベンバ語)		6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル:)	
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許() ・性別() 性別理由: ・学歴(大卒) (業務関連分野) 学歴理由: 講師として指導するため ・経験(実務経験) (2年以上) 経験理由: 灌漑、排水設備のメンテナンスを行うため 理由: 理由:					
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度	
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車					X	
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)						
概 況	気候(サブナ) 気温(5~35℃位)		電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)			
地 況	電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)					



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号 佐々木
--------	----------

記入日:平成 23 年 7 月 25 日

要請番号(JL 630 - 11 - B - 30)	調査者名: 彦根 克己
------------------------------	-------------

国名	職種/指導科目 (コード 1201)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
モザン ビーク	職種 農業土木	◎ 新規 ○ 交替 代目	◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	24 / 1
	指導科目			2	24 / 2
	職種(英) Agricultural Civil Engineering			3	24 / 3
	指導科目(英)				年 月 日から

開発課題 農村開発

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture
	2) 配属先名 (日本語) ソファラ州農業局 (英語) Sofala Province Agriculture Office
	3) 任地 ソファラ州ベイラ市 首都(マプト市)から 北 方向 400 Km 主要都市(ベイラ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.2 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ソファラ州に設置されている経済活動事務所を管轄し、州内における農業・畜産業・林業に係る農業行政全般をつかさどる。局長のもとに、農業課、畜産課、普及課、森林課などがあり、年間予算は日本円で約2億円。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ソファラ州農業局には水利技師が少なく、必要な灌漑スキームの調査、設計、施工の監督をすることができず、灌漑農業を広めることが困難になっている。元青年海外協力隊員(15/2、農業土木)が現在、他州農業局でEUからの資金援助を受けた灌漑プロジェクトにコンサルタントとして勤務し、設計・業者の入札作業等を一手に引き受けている。その活動が評判となり、農業省他州の農業局へも技術支援が必要と考え今回のソファラ州農業局からの要請となった。	
	2) 期待される具体的業務内容 州内の農業生産増産を図るため、同局スタッフと協力もしくは指導助言しながら、州内の灌漑農業を発展させる。状況によっては、農業省本省からの依頼で他州(マニカ州等)への出張もありえる。 1. 既存灌漑設備・施設の調査 2. 新規灌漑設備の設計・工事 3. 灌漑設備の保守管理	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 局の持つ運転手付4WDを利用できる	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 灌漑課主任、45歳、男性、専門学校卒、中級技師	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) ポルトガル語 () ()

資格条件 条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
 ・教諭免許() ・性別() 性別理由:
 ・学歴 (専門学校卒) (土木工学) 学歴理由: 同僚と同等以上
 ・経歴 (実務経歴) (5年以上) 経歴理由: 経験のある同僚と業務を円滑に遂行するため
 ・理由:
 ・理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 気候(亜熱帯) 気温(15-35℃位) 電気(□安定 ☒不安定 □なし)
 況域 電話(☒インターネット可 ☒通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☒不安定 □なし)



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)

短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号 佐々木

記入日:平成 23 年 7 月 25 日

要請番号(JL 630 - 11 - B - 31)

調査者名:彦根克己

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
モザン ビーク	職種 農業土木 (コード 1201)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	24 / 1
	指導科目			2	24 / 2
	職種(英) Agricultural Civil Engineering 指導科目(英)			3	24 / 3
開発課題 農村開発					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture				
	2) 配属先名 (日本語) ナンプラ州農業局 (英語) Nampula Provincial Directorate of Agriculture				
	3) 任地 ナンプラ州ナンプラ市 首都(マプト)から 北東 方向 2060 Km 主要都市(ナンプラ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.5 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ナンプラ州19郡に設置されている農業事務所(郡経済活動事務所)を管轄し、州内における農業・畜産業・林業に係る農業行政全般をつかさどる。局長のもとに、農業課、畜産課、普及課、森林課などがあり、年間予算は日本円で約2億65百万円。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ナンプラ州農業局には水利技師が少なく、必要な灌漑スキームの調査、設計、施工の監督をすることができず、灌漑農業を広めることが困難になっている。元青年海外協力隊員(15/2、農業土木)が現在、他州農業局でEUからの資金援助を受けた灌漑プロジェクトにコンサルタントとして勤務し、設計・業者の入札作業等を一手に引き受けている。その活動が評判となり、農業省他州の農業局へも技術支援が必要と考え今回のナンプラ州農業局からの要請となった。				
	2) 期待される具体的業務内容 州内の農業生産増産を図るため、同局スタッフと協力もしくは指導助言しながら、州内の灌漑農業を発展させる。状況によっては、農業省本省からの依頼で他州への出張もありえる。 1. 既存灌漑設備・施設の調査 2. 新規灌漑設備の設計・工事 3. 灌漑設備の保守管理				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 農業局の持つ運転手付4WDを利用できる可能性がある				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 灌漑課主任、45歳、男性、専門学校卒、中級技師		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) ポルトガル語 ()		
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許() ・性別(男性) 性別理由: 配属先スタッフとのバランス ・学歴(専門学校卒) (土木工学) 学歴理由: 同僚と同等以上 ・経歴(実務経験) (5年以上) 経歴理由: 実際に調査・設計を行うため 理由: 理由:				
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車					X
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概地 況域	気候(サバンナ) 気温(15-35℃位)		電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		
電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)					



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 30 日

要請番号(JL 024 - 11 - B - 04)

調査者名: 小熊 誠

国名	職種/指導科目 (コード 1402)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ラオス	職種 家畜飼育 指導科目	◎ 新規 ○ 交替 代目	◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	24 / 1
	職種(英) Animal Husbandry 指導科目(英)			2	24 / 2
	3			/	

開発課題 農村基盤施設・居住環境改善、地域住民の生計向上及び農業・森林保全分野の政策実施・制

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農林省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Forestry
	2) 配属先名 (日本語) セコン県農林局 (英語) Sekon Provincial Agriculture and Forestry Office
	3) 任地 セコン県ラマム郡 首都(ビエンチャン)から 南東 方向 800 Km 主要都市(バクセ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 県農林局は、畜水産課、普及課、計画協力課、総務課等があり、職員は150名。これまでカナダボランティア1名、JOCV養殖隊員等3名受け入れた。隊員は畜水産課に配属される。15km離れた場所にホワイキヤオステーションがあり、養豚、養豚、アヒルが飼育されている。1997年に国連食糧農業機関 (FAO) の支援を通じて建設され、2008年に草の根無償資金協力で改善工事が行われた。年間予算は5,000ドル。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 県内に多くの貧困地域を抱えるセコン県では、畜産は重要な収入源となっている。しかしながら、家畜飼養管理技術の水準は未だ低い状況にあり、その原因として特に乾季の飼料確保不足や、家畜の健康管理に関する知識が不十分であることが指摘されている。このような状況において、県農林局畜水産課より若手スタッフおよび農家を対象とした家畜飼養管理技術、特に衛生管理技術指導を目的とし、協力隊の要請が挙げられた。なお、セコン県は2011年から開始された「南部山岳丘陵地域生計向上プロジェクト」の対象県でもあり、プロジェクトとの連携も想定される。なお、セコン県の家畜は、水牛、肉牛、豚、ヤギの順に多い。
	2) 期待される具体的業務内容 1) スタッフ及び農民に対して各種予防接種の目的、時期、重要性について指導する。具体的な家畜伝染病としては、口蹄疫・豚コレラ・高病原性鳥インフルエンザ・狂犬病等がある。 2) スタッフと共に家畜飼養管理技術に関する現状や問題点の把握、改善に向けての分析、立案、指導を行う。 3) ホワイキヤオステーションにおける畜産部門の技術的問題分析とその改善の支援を行う。 JICAプロジェクト「ラオス南部山岳丘陵地域生計向上プロジェクト」と連携し、プロジェクトが実施する技術研修や巡回指導に協力する。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 注射器、冷蔵庫、予防接種キット

資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 畜水産課 獣医師 2名 30代 家畜飼育員 2名 30代	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) ラオス語 ()	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許() ・性別() 性別理由: ・学歴 (専門学校卒) () 学歴理由: 一定以上の知識が必要となるため ・経験 (実務経験) (3年以上) 経験理由: スタッフや農民に対して指導するため ・小型自動二輪以上 理由: 活動上必要 理由:		

資格条件	活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
◎有 ○無 ○車輦 ◎単車 ○自転車				×

村落巡回時に必要であり、スタッフは単車での移動となるため。

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況域	気候(亜熱帯) 気温(15-35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)
------	--



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 5 月 22 日

要請番号(JL 057 - 11 - B - 02)

調査者名: 築山佳代子

国名	職種/指導科目 (コード 1402)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
モルディ ブ	職種 家畜飼育 指導科目 養鶏	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	24 / 1
	職種(英) Animal Husbandry 指導科目(英) Poultry			2	24 / 3
				3	/

開発課題 食糧支援

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 水産農業省 (受入機関名)(英語) Ministry of Fisheries and Agriculture
	2) 配属先名 (日本語) NGO ランディ・ムーブメント (英語) NGO Rahandih Movement
	3) 任地 ハーアリーブ環礁バーラ島 首都(マレ)から 北 方向 300 Km 主要都市(マレ)までの交通手段及び所要時間(飛行機 で約 1.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 国連開発計画(UNDP)と当国水産農業省の共同で、2008年より離島の自立計画のひとつとして「養鶏」を指導している。鶏舎の供与と初期の技術指導はUNDPから受けた。現在、運営は省の担当チームが遠隔操作しながら地元NGOが現場で行っている。省における同プロジェクトへの年間予算約80万円。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) UNDPと水産農業省の共同養鶏プロジェクト。スリランカより300羽を輸入し採卵鶏を飼育(鶏舎中の放飼い)、取れた卵を近隣島に販売している。採卵は約1600個/週。卵1個は約13円。飼料もスリランカより輸入。孵化及び繁殖用装置は一切ない。ワクチン及びデビークは実施されている。現在、鶏舎1舎だけだが、今後3舎へと規模拡大を計画。現在のところ主な疾病はないが、万が一2羽が疾病にかかった場合には、省で担当している獣医が対応する体制。養鶏プロジェクト全体は、地元島民とNGOが対応し、運営等予算面は全て省庁で対応しているが、現地で専門的知識を持つ者がいないため協力隊要請となった。	
	2) 期待される具体的業務内容 ・ 現在すべて輸入に頼っている飼料を、国内で生産できる飼料資源を確保し、飼料給与計画を立て実施する。 ・ 島の養鶏業に携わっている島民を対象に、養鶏の基礎知識勉強会等を開催する。 ・ 将来的に規模拡大していくため、有用な養鶏、鶏舎運営に協力する。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 鶏舎1舎	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 現地養鶏プロジェクト・スタッフ(島民、地元NGOメンバー) 10名(男女、20~40代) 水産農業省、担当者(男性、30代) 水産農業省付け、獣医(男性、50代)	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 () その他 (ディベヒ語)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・ 教諭免許() ・ 性別() 性別理由: ・ 学歴() () 学歴理由: ・ 経験(実務経験) () 経験理由: 養鶏の指導を行うため。 理由: 理由:	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル:)

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車		N	×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(熱帯モンスーン) 気温(25~35℃位) 電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
----------	---



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 6 月 27 日

調査者名: 古川 順

要請番号(JL 545 - 11 - B - 06)

国名	職種 / 指導科目 (コード 1402)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ウガンダ	職種 家畜飼育 指導科目	○新規 ◎交替 2 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	24 / 2
	職種(英) Animal Husbandry 指導科目(英)			2	24 / 3
	3			/	

開発課題 地場産業強化・振興

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) ジェンダー労働社会省 (受入機関名)(英語) Ministry of Gender, Labour and Social Development
	2)配属先名 (日本語) NGO セントジュードファミリープロジェクト (英語) NGO St.Jude Family Project
	3)任地 マサカ県ブセンセ 首都(カンバラ)から 南西 方向 160 Km 主要都市(マサカ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 環境に配慮した有機農業普及を通じたコミュニティ活性化および近代農業技術の習得から現金収入向上を目的に、1993年に設立されたNGOである。①有機栽培・農業開発、②家畜飼育、③トレーニング等を通じた地域への還元、④食品加工・経営企画を主たる活動として、地域における農業開発の拠点としての機能を有している。年間予算は約187,000米ドル。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 配属先は、ウガンダにおける現行の農業の技術および知識については既に問題ないレベルであり、農業研修も非常に活発に実施されており応募者も多い。前任者は「野菜栽培」であり、配属先に新たな農産物品種や日本の農業技術を紹介して高く評価されている。一方、配属先はニワトリをはじめ牛、豚、ヤギ等を飼育しているが、有機農産物との連携があまり芳しく順調に繁殖していないことから、後任は「家畜飼育」としての要請となった。	
	2)期待される具体的業務内容 スタッフとモデル農場で一緒に働きながら、下記の業務を実施する。 ①養鶏を中心とする家畜飼育に対する助言 ②有機栽培された飼料の有効利用に対する助言	
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 モデルファーム、研修施設	
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル Director (女性、40代)、スタッフ25名	5)業務使用言語 (訓練言語は上段) 英語 () その他 (ガンダ語) ()

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許 () ・性別 () 性別理由: ・学歴 (大卒) (畜産学) 学歴理由: 家禽飼養に関する助言が必要のため ・経歴 () () 経歴理由: ・自家配合飼料作りの経歴 理由: 活動において有効と思われるため 理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車		N	X

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地域	気候(亜熱帯) 気温(10-30℃位)	電気(□安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 □なし)
電話(□インターネット可 □通話可 <input checked="" type="checkbox"/> 不良 □なし)		水道(□安定 □不安定 <input checked="" type="checkbox"/> なし)

平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 6 月 21 日

要請番号(JL 012 - 11 - B - 06)

調査者名:後藤 晃

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
フィリ ピン	職種 獣医・衛生 (コード 1403)	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	24 / 1	年 月 から
	職種(英) Veterinary Medicine and Hygiene			2	24 / 2	
指導科目(英)	3	/				

開発課題 生計向上(貧困層の自立)

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 国家経済開発庁 ボランティア調整局 (受入機関名)(英語) NEDA-PNVSCA
	2)配属先名 (日本語) 国家酪農局東ネグロス州事務所 (英語) National Dairy Authority
	3)任地 東ネグロス州ドゥマゲッテ市 首都(マニラ)から 南東 方向 600 Km 主要都市(マニラ)までの交通手段及び所要時間(飛行機 で約 1 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 国家酪農局は1995年に酪農公社から組織変更、農業省の管轄部署として設立された組織で、国内にセントラルオ フィスと4つの地域事務所がある。各地域事務所は酪農組合及びその傘下の酪農家に対して、酪農技術の巡回指 導、セミナー実施、ローンプログラムの推進等の技術的・経済的支援を実施している。配属先である東ネグロス州 事務所は2008年に東ネグロス州における酪農産業の発展を目的に開設された。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 配属先は東ネグロス州の酪農振興のため、2008年からホルスタイン・サヒワール種を導入し、現在までに276頭を 農家に有償配布してきた。並行して、ドゥマゲッテ市を中心に町単位での酪農組合の設立も支援している。各組合 には役職の他に委員会が設けられており、乳質管理、飼養管理委員会が存在する。配属先には大動物経験が少ない 獣医師が1名在籍し、その1名で州全体を管轄しているため、各組合や酪農家へのサービスが充分に行えていないの が現状である。配属先は経験の少ない獣医師に新しい技術の提供(妊娠鑑定や各疾病の治療方法)及び、近郊の酪 農家への指導、補助を必要とし隊員の要請となった。
	2)期待される具体的業務内容 隊員は配属先獣医師、組合の飼養管理委員、町役場の畜産技術師と協力し、ドゥマゲッテ市近郊の酪農家約50軒 (150頭から200頭)を巡回訪問し、以下の活動を行う。 ① 適切な飼養管理、繁殖管理、病理診断、疾病予防及び治療法、薬の処方などについて助言を行う。 ② 乳房炎に対する治療及び予防知識の普及を行う。 配属先獣医師は小動物の経験は豊富だが、牛やヤギなどの経験は約1年である。
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 PC、インターネット、プリンター、外科手術道具一式、検査機材(乳中抗生物質検査キット)、体側器、AIガ ン、点滴機材など

資 格 条 件	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層) 及び指導対象者の技術レベル 事務所長 1名 男性 50代 獣医師 1名 男性 30代 乳質管理員 1名 女性 20代	5)業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 () その他 (セブアノ語)	6)選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許()・性別() 性別理由: ・学歴 (大卒) (獣医学) 学歴理由: 業務上必須 ・経験 (実務経験) (3年以上) 経験理由: 配属先の希望 ・獣医師 理由: 配属先の希望 ・小型自動二輪以上 理由: 活動上必要		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輛 ●単車 ○自転車			×

酪農家巡回を行うため
 * 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(熱帯性) 気温(25~35℃位) 電気 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)

短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 30 日

要請番号(JL 024 - 11 - B - 05)

調査者名: 小熊 誠

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ラオス	職種 獣医・衛生 (コード 1403)	◎ 新規 ○ 交替 代目	◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	24 / 1
	指導科目			2	24 / 2
	職種(英) Veterinary Medicine and Hygiene			3	/
	指導科目(英)				年 月 から
開発課題 農村基盤施設・居住環境改善、地域住民の生計向上及び農業・森林保全分野の政策実施・制					
配属概要	1) 受入省庁名(日本語) 農林省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Forestry				
	2) 配属先名 (日本語) チャンパサック県農林局 (英語) Champasack Provincial Agriculture and Forestry Office				
	3) 任地 チャンパサック県パクセ市 首都(ビエンチャン)から 南東 方向 650 Km 主要都市(パクセ)までの交通手段及び所要時間(バイク で約 0.5 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は、チャンパサック県農林局畜水産課家畜疾病分析センターである。当センターは、家畜疾病分析業務、疾病家畜の治療、チャンパサック県周辺地域の家畜衛生管理促進の3点を主な業務として行っている県の施設である。設備は主にタイ国際開発協力機構(TICA)からの機材援助で整備されている。年間予算は約3,000ドル。				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 当センターでは、家畜伝染病の診断、予防、病理鑑定、治療等を行っているが、スタッフは若く、まだ実務経験や獣医学全般に対する知識が乏しいため、スタッフの指導を目的に県農林局から獣医・衛生隊員の要請が挙げられた。また、2011年から南部山岳丘陵地域生計向上プロジェクトが開始され、南部4県において家畜飼育、水産養殖及びその他の農業技術指導を行い農民の生計向上を図る活動が実施されており、当該プロジェクトと連携し、畜産研修や現地指導にも協力する。				
	2) 期待される具体的業務内容 1 スタッフに対し、家畜疾病分析に関する技術指導を行う。 具体的な家畜伝染病としては、口蹄疫・豚コレラ・高病原性鳥インフルエンザ・ニューキャッスル・狂犬病等があり、これらの検査、診断技術の向上が期待される。 2 畜産技術研修会等において、当センター及び関連機関の若手スタッフに対し、家畜衛生管理技術の指導を行う。 3 巡回指導により農民への家畜飼育・衛生管理の指導を行う。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 家畜疾病分析に必要な基本機材(滅菌器、培養器、遠心分離器、恒温機、生物顕微鏡、実体顕微鏡、PHメーター、冷蔵庫、コンピュータ等)、実験室				
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル センター長、1名、女性 大卒 配属先職員数は11名(男性2名 女性9名) うち8名(男性2名、女性6名)がラボ勤務 20代~30代		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) ラオス語 ()		6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・ 教諭免許() ・ 性別() 性別理由: ・ 学歴()() 学歴理由: ・ 経験()() 経験理由: ・ 獣医師 理由: ・ 小型自動二輪以上 理由: 活動上必要				
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
◎有 ○無 ○車輦 ◎単車 ○自転車					x
村落巡回時に必要であり、配属先に車両がないため。					
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概地域	気候(亜熱帯) 気温(15-35℃位)		電気	<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし	
況域	電話(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道	<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし	

平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JVA ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

記入日:平成 23 年 6 月 23 日

要請番号(JL 506 - 11 - B - 10)

調査者名: 松井 忠徳

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
エチオピア	職種 農業協同組合 (コード 1501)	○新規 ◎交替 2 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	24 / 2	年 月 から
	職種(英) Farmer's Co-operatives			2	24 / 3	
指導科目(英)	3	/				

開発課題 農業生産性向上

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) オロミア組合推進局 (受入機関名)(英語) Oromia Cooperative Promotion Agency
	2) 配属先名 (日本語) オロミア組合推進局 (英語) Oromia Cooperative Promotion Agency
	3) 任地 アジスアベバ 首都(アジスアベバ)から 南 方向 1 Km 主要都市(アジスアベバ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.2 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同局はエチオピアで最大の面積、人口を誇るオロミア州において農協組合のみならず様々な組合(Saving Credit, Non agricultural, Consumer)の組織運営全般に関する指導、登録業務、トレーニングの実施、組合の活性化などの業務を実施している。年間予算は2009年時、約1,150万ブル(約5,500万円)。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同局はエチオピア最大の面積、人口を持つオロミア州の組合を管轄する行政機関であり、傘下組合の能力向上の業務の充実、活性化を積極的に推進している。オロミア州全体で107の組合が存在し、そのうち7割以上が農業に関する組合である。前任者は定期的に傘下の農協組合を巡回調査し同局と共有し、問題解決への働きかけを行っている。また、日本の農協の仕組みやノウハウなども多くの関係者に紹介している。同局では引き続き経験と知識のあるボランティアの支援が必要であり後任の要請に至った。	
	2) 期待される具体的業務内容 配属先の同僚の支援を得ながら以下の活動を行う。 1. 傘下の農協組合を巡回して現状の調査や改善点の提案などを行う。 2. 同配属先、県や郡の推進委員会及び傘下の農協組合に対して巡回調査の情報を共有して状況改善に協力する。 3. 巡回する組合の定期的なモニタリングとフォローアップを行い組合の活性化やマネジメント強化をめざす。 その他、日本の農協に関する仕組みや知見についての同僚への情報共有も期待されている。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 執務スペース	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル スタッフ数 90名(男性60名、女性30名) 転職は多い。 農協推進課 3名(40代~50代) 組合関係者、農民等 (20代~50代)	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 () その他 (オロモ語)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許() ・性別() 性別理由: ・学歴 () () 学歴理由: ・経験 (実務経験) (5年以上) 経験理由: 農協に対する能力向上の支援を行う為 理由: 理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車		P	x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)
 概地 気候(温帯) 気温(15~30℃位) 電気安定 不安定 なし
 況域 電話インターネット可 通話可 不良 なし 水道安定 不安定 なし



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 7 月 1 日

要請番号(JL 124 - 11 - B - 01)

調査者名: 黒木 直敏

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
パプア ニューギ ニア	職種 漁業協同組合 (コード 1502) 指導科目 職種(英) Fishermen's Co-operatives 指導科目(英)	○新規 ●交替 2代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1 24 / 2 2 24 / 3 3 /	年 月 から

開発課題 地方村落の生計向上

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 水産公社 (受入機関名)(英語) National Fisheries Authority
	2)配属先名 (日本語) 東ニューブリテン州政府水産局 (英語) East New Britine Provincial Administration
	3)任地 ラバウル 首都(ポートモレスビー)から 北東 方向 600 Km 主要都市(ココボ市内)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 州の政策として、産業振興を目的とし水産開発を進めてきている。コブラ、カカオ等のプランテーションでの生産に加えて、貧しい漁民の生活向上を目的とした漁業振興に力を入れるため、ボランティアに期待を寄せている。日本の海外漁業協力財団(OFCF)からの冷凍施設供与により、2007年よりココボで製氷機等が稼働している。州全体の予算は、年間約30億円。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 1970年代から日本の支援等により水産施設拡充、改善を行ってきている。しかしながら火山の活動で州都の移転(ラバウルからココボ)が必要となり、生活・経済基盤の移転も強いられている。プランテーション等での雇用があれば生活も安定するが、定期的な収入のない漁民の生活は貧しい。上記製氷機が稼働した事もあり、最近、漁民たちが協同組合を構成し、安定した漁獲量の確保により、より需要の高い市場への輸送等を計画している。漁民が協力して施設を最大活用し、施設の管理、漁法技術指導、水産物加工、市場開拓等を総合的に実施して、地域漁民の生活向上、貧困削減につなげるアイデア、活動をボランティアに期待している。	
	2)期待される具体的業務内容 期待される活動は、 ①漁業協同組合組織強化 ②組合付属製氷施設運営及び維持管理方法紹介 ③製氷施設活用による漁獲物鮮度維持技術導入 ④生活向上を目的とする組合活動の普及及び研修(漁具漁法のワークショップ実施など) 住居は配属先により提供される予定であるが、困難な場合は他のボランティアと同居の場合がある。	
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 20リットルX24本の製氷機、業務用冷凍庫、魚の処置台等	
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 州政府漁業オフィサー、年齢30—40歳、男女	5)業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 () その他 (ビジン語)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許 () ・学歴 () () ・経験 (実務経験) (2年以上)	性別 (男性) 性別理由: 治安上の理由から 学歴理由: 経験理由: 実践的技術を必要とするため(水産分野) 理由: 理由:

6)選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: B) <input type="checkbox"/> (レベル:)

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輛 ●単車 ○自転車			x

巡回指導を行う場合に必要
 * 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(熱帯雨林) 気温(25-35℃位) 電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
----------	---



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)

短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 30 日

要請番号(JL 012-11-B-02)

調査者名:後藤 晃

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
フィリピン	職種 村落開発普及員 (コード 1503) 指導科目 職種(英) Rural Community Development 指導科目(英)	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1 24 / 1 2 24 / 2 3 /	年 月 から
開発課題 基礎的社会サービスの拡充(貧困層を取り巻く生活環境の改善)					
配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 国家経済開発庁 ボランティア調整局 (受入機関名)(英語) NEDA-PNVSCA				
	2)配属先名 (日本語) マンフヨッド町役場 (英語) Municipal office of Marjuyod				
	3)任地 ネグロス・オリエンタル州マンフヨッド町 首都(マニラ)から 南東 方向 600 Km 主要都市(ドゥマゲツティ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 2 時間)				
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農業、漁業、畜産業、林業、廃棄物処理など環境に関わる事業全般を担当。10漁村に対してマングローブ地域の保護管理、植林、漁業ライセンス管理、山間部での植林、またマンフヨッド町全25村に対して、有機農業の推進、廃棄物処理の指導を行っている。小学校や高校でのイベントも行う。また、州都ドゥマゲツティの大学と協力し、コンポストプログラムや有機農業推進プログラムを進めている。				
要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 前任者は、マンフヨッド町の沿岸部数村を対象に、マングローブの保全管理として苗の作成や植林、高倉式コンポストの戸別普及活動及び野菜の種の無料配布、ゴミの分別を促進する必要性から、紙ゴミの分別を学校や町役場を中心に呼びかけ、それを利用したりリサイクル燃料を作成し、住民に広めている。また、清掃活動のイベントを行なうなど、町の美化に関する啓発活動も行った。 以上の活動は、住民への隊員活動の定着を図るため、数年単位でのモニタリングや協働の継続性が必要であり、後任隊員を要請した。				
	2)期待される具体的業務内容 町役場スタッフ、コミュニティのリーダーや住民と協働し、以下の活動を行う。 ①前任者の活動の継続状況等を分析し、対話や協議を通して活動を進めつつ、改善を行う。 ②高倉コンポストの更なる普及により、有機ゴミの有効利用やそれを利用した有機野菜の普及に務める。 ③マングローブの苗作成を住民と共に行うことにより、植林したマングローブの枯死率を下げる。 ④各廃棄物のリサイクルの促進により、ゴミの分別を定着させる。 コンポストやマングローブ保全管理の特別な知識は不要で、前任者からの引継情報で対応可能。環境問題から始めているが、将来的には村落開発も視野に入れ、隊員の経験、知識、アイデアを活かした活動が望まれる。				
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 電話機、FAX、コンピュータ、コピー機				
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 漁業普及改善員 50代男性・1名 廃棄物管理プログラム調整員 50代男性・2名 非常勤事務職員 40代女性・1名 非常勤技術補助員 30~50代男性・2名		5)業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 () 、その他 (セブアノ語)		
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許()・性別()性別理由: ・学歴(大卒)()学歴理由:配属先からの要望 ・経験()経験理由: ・小型自動二輪以上 理由:活動上必要 理由:				
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輛 ●単車 ○自転車 村落巡回を行うため					x
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概地況	気候(熱帯性) 気温(25~35℃位)		電気	<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし	
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)			水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)

短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 28 日

要請番号(JL 024 - 11 - B - 08)

調査者名: 中村 範之

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ラオス	職種 村落開発普及員 (コード 1503)	◎ 新規 ○ 交替 代目	◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	24 / 1
	指導科目			2	24 / 2
	職種(英) Rural Community Development 指導科目(英)			3	24 / 3
開発課題 投資・輸出促進のための環境整備					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 産業商業省 (受入機関名)(英語) Ministry of Industry and Commerce				
	2) 配属先名 (日本語) サバナケット県産業商業局 (英語) Department of Industry and Commerce of Savannakhet				
	3) 任地 サバナケット県カイソン市 首都(ビエンチャン市)から 南東 方向 400 Km 主要都市(カイン市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 産業商業省の管轄下であり、サバナケット県内の各郡産業商業事務所の統括的な位置づけである。職員管理、輸出入、産業工業、商品検査、産品開発促進、国内商業、統計、総務課の部署があり職員数は63名、年間予算は約55万円。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 配属先では、県全体の経済活性化を目的として、農村部における生計の向上、地場産業の振興、中小企業の育成等を図っている。その一環として、JICA技プロ「一村一品プロジェクト」(2008~2011年)と連携しながら、特産品の開発・改良と販路の開拓に取り組んでいる。同技プロの終了後も、同活動をフォローして、引き続き産品の改良、マーケティング活動等への支援が求められて本要請となった。				
	2) 期待される具体的業務内容 1 既存の特産品の市場価値を高めるための助言、協力を行う 2 新規産品の開発に関する助言、協力を行う。 3 各生産者グループの組織強化、マーケティング強化に対する協力を行う。 なお、現在サバナケット県で一村一品開発のパイロット産品として取り組まれているものとしては、陶器、線香、楊枝、アロエ飲料、米粉、黒米などである。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 オフィススペース、巡回用車両(技プロ車両が供与される予定)				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ・ 主な部署となる産品開発促進課の職員は7名(男性4名、女性3名、30代~50代)		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) ラオス語 () 英語 ()		
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・ 教諭免許() ・ 性別() 性別理由: ・ 学歴(大卒) (業務関連分野) 学歴理由: 活動上、当該分野の知識が求められるため ・ 経歴() () 経歴理由: ・ 学歴の業務関連分野は政治・経済、開発学等 理由: 理由:				
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
◎有 ○無 ○車輛 ◎単車 ○自転車					x
生産者グループに対する巡回が期待されるため					
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概地況	気候(亜熱帯) 気温(20~35℃位)		電気 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		
地域	電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 22 日

要請番号(JL 027 - 11 - B - 01)

調査者名: 若林 勇飛

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ベトナム	職種 村落開発普及員 (コード 1503) 指導科目	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	職種(英) Rural Community Development 指導科目(英)			1	24 / 2	年 月 から
				2	24 / 3	
3	/					

開発課題 農業・農村開発/地方開発

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) トゥアティエン・フエ省人民委員会 (受入機関名)(英語) Thua Thien Hue Provincial People's Committee
	2) 配属先名 (日本語) トゥアティエン・フエ省文化スポーツ観光局 (英語) Department of Culture, Sports and Tourism, Thua Thien Hue Province
	3) 任地 トゥアティエン・フエ省フエ市 首都(ハノイ)から 南 方向 680 Km 主要都市(フエ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は、地方行政機関である省人民委員会の下部組織であり、世界遺産をはじめ多彩な観光資源を有する同地の観光や文化、スポーツにかかる事業全般を担っている。また、当省は観光分野を含め、複数の海外援助を受けている。2011年度より、JICA 草の根技術協力プロジェクト、「ヘリテージ・ツーリズムによる持続的な地域振興支援プロジェクト」が昭和女子大学により実施されている。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 1993年にベトナム初の世界遺産に登録されたフエの歴史的建造物郡は有名であるが、昨今、フエ省では観光を最優先的産業と明確に位置づけ、世界遺産以外にも豊富にある観光資源の活用、その持続可能な開発に取り組んでいる。国内外の観光客、地域住民、配属先をはじめとした行政機関や観光従事者など様々な人々のニーズを捉え、地域の持続的発展を見据えた観光の多様性を提案することが必要とされる。 前任者は上記草の根技術プロジェクトと連携しつつ、対象村落における調査等を実施している。
	2) 期待される具体的業務内容 配属先スタッフと協力しながら、以下の活動を行う。 1. 省内の観光サイトをいくつか選定し、観光にかかる様々な側面の現状調査を行う。 2. 上記調査結果等を踏まえ、観光従事者や観光サイトの住民に対し持続可能な観光開発への理解を促す。 3. 観光客、観光従事者、観光サイトの住民などそれぞれのニーズについて相互理解を促しながら、それに対応可能な具体的取組みを模索する。 *上記取組みは上記草の根技術協力プロジェクトとの連携が可能である
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 コピー機、ファックス機などの一般的な事務機器

資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ・局長1名(男性/50歳代) ・観光開発計画課々長1名(男性) ・観光開発計画課スタッフ数名	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) ベトナム語 () 英語 ()	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: B) <input type="checkbox"/> (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許() ・性別() 性別理由: ・学歴(大卒)() 学歴理由: 同僚とのバランスを図るため ・経験(社会経験)(5年以上) 経験理由: 様々な人々との関係構築を行うため 理由: 集落への巡回に必要なため 理由:		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輛 ●単車 ○自転車			x

対象村落への巡回が想定されるため

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(亜熱帯) 気温(15~40℃位) 電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
----------	---



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 13 日

要請番号(JL 027-11-B-02)

調査者名:若林 勇飛

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ベトナム	職種 村落開発普及員 (コード 1503) 指導科目 職種(英) Rural Community Development 指導科目(英)	○新規 ◎交替 3 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1 24 / 1 2 24 / 2 3 24 / 3	年 月 日から
開発課題 地方開発・生計向上					
配属先概要	1)受入省庁名(日本語) ハノイ市人民委員会 (受入機関名)(英語) Hanoi City People's Committee				
	2)配属先名 (日本語) ドラム村遺跡保存管理事務所 (英語) Duong Lam Ancient Village Monument Management Preservation Board				
	3)任地 ハノイ市ソントイ地区 首都(ハノイ)から 南西 方向 40 Km 主要都市(ハノイ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5 時間)				
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は、地方行政機関である人民委員会の下部組織として2006年7月に設立され、伝統的家屋が多く文化的価値の高いドラム村の保存および管理等にかかる全般的な業務を行っている。 配属先設立以前より、昭和女子大学を中心に同地区保存にかかる調査・研究が進められており、JICAボランティアを含めた関係者間の連携による効果が期待されている。				
要請概要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ドラム村は、2005年11月にベトナムで初めて農村全体が国家文化財に指定され、2006年には保存条例も制定された歴史的価値が高い場所である。現在、同地を訪れる観光客は急増しており、それに伴う環境汚染などの地域変容への対策や、持続的な集落保存が喫緊の課題となっている。効果的な保存と開発を行うために、①文化財保存、②経済の活性化(観光化や生業による生計向上)、③住環境・生活向上等のバランスを図った取り組みが必要とされ、地域住民の視点に立った観光開発支援を行うことが期待されている。				
	2)期待される具体的業務内容 前任者の活動基盤を引き継ぎ、配属先スタッフを巻き込みながら以下の活動を行う。 ・地域振興や持続可能な集落保存と観光開発を見据えながら、既存資源の有効価値、その活用方法等について住民理解を促進する。 ・既存資源や特産物などを活用した住民の生計向上を目指し、住民組織や配属先に対するアイデア提供、訪問受入にかかる調整、外部への広報活動支援を行う。 ※円滑な活動を行うため、同配属先で活動を行う青年海外協力隊員や昭和女子大学などの外部関係機関との情報共有・交換等を通じた連携が求められる。				
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 カメラ、ビデオカメラ、OHP、PC等				
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ・所長1名(男性/50歳代) ・副所長1名(男性/40歳代) ・スタッフ6名(男性5名、女性1名/建築技師他)		5)業務使用言語(訓練言語は上段) ベトナム語 () ()		
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許() ・性別() 性別理由: ・学歴 (修士) (業務関連分野) 学歴理由: 業務遂行上、相応の知識が必要とされる ・経験 (社会経験) (5年以上) 経験理由: 活動上で必要 ・小型自動二輪以上 理由: 集落巡回のため必要 理由:				
活動用交通手段の必要性				研修等	形態
◎有 ○無 ○車輦 ◎単車 ○自転車 点在集落の巡回のため					現職教員特別参加制度 - x
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概地況	気候(亜熱帯) 気温(10~35℃位)		電気 <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道 <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	
電	電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)				

平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)

短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

記入日:平成 23 年 6 月 28 日

要請番号(JL 027 - 11 - B - 03)

調査者名: 志賀 龍

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ベトナム	職種 村落開発普及員 (コード 1503)	○新規 ◎交替 2 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	1	24 / 1
	指導科目			2	24 / 2
	職種(英) Rural Community Development			3	24 / 3
	指導科目(英)				年 月 日から

開発課題 農業・農村開発/地方開発

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育訓練省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education and Training	
	2) 配属先名 (日本語) フエ大学農林大学農林業研究開発センター(CARD) (英語) CARD, College of Agriculture and Forestry, Hue University	
	3) 任地 トアティエン・フエ省 首都(ハノイ)から 南 方向 600 Km 主要都市(ハノイ)までの交通手段及び所要時間(飛行機 で約 1 時間)	
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農林業研究開発センター(CARD)は、フエ大学農林大学の附属機関として農林水産業分野での村落開発支援、人材育成および調査研究を行っている。2006年からは、京都大学地球環境学堂とともにJICA草の根技術協力事業の現地実施団体として、コミュニティ防災、環境保全、生計向上に向けた生業多様化などの住民参加型開発に取り組んでいる。	
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 前任者(H22年度2次隊)は、配属先のスタッフと協力し、フエのラグーンエリアにおける災害弱者に対する災害対策支援、および防災活動を通じて住民に対する共助の意識化を目的とした活動を実施している。ベトナム中部は険しい山岳地域地形と狭い平野地形であることに加え、近年の気候変動が集中豪雨などを引き起こし、土砂災害や洪水が頻発するアジア有数の自然災害常襲地域となっている。この地域の人々の暮らしと安全の向上には、住民レベルでの災害対処力の強化、農林水産業に関わる生業の多様化、社会的弱者層への支援の仕組みを整備することが求められており、前任者に続き現地に根ざした活動を行えるボランティアの要請が行われた。	
	2) 期待される具体的業務内容 配属先の一員として、配属先スタッフと協力しながら以下の活動を行う。 ・地域特性などに関する実地調査に基づき、生計改善や災害対処力の向上につながる生業多様化の施行。 ・これまでの配属先の活動や草の根技術協力で見出された有用技術(例:パニラ栽培、自家製家畜飼料等)の普及支援。 ・小中学校での環境・防災教育、コミュニティ防災体制の強化、住民向けの教材作成等の支援。 *2013年9月まで京都大学地球環境学堂と配属先によるJICA草の根技術協力プロジェクトが実施されており、派遣されるボランティアも活動において京都大学関係者と連携することが期待されている。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 パソコン、プリンター、コピー機等、事務機器は配属先に整備されている。	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル センター長1名(男性/50代) 副センター長1名(女性/50代) その他スタッフ7名(学士・修士・博士)	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) ベトナム語 () ()
資 格 条 件	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: A) <input type="checkbox"/> (レベル:)	
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許() ・性別() 性別理由: ・学歴(大卒)() 学歴理由: 大学に派遣されるため ・経験() 経験理由: ・小型自動二輪以上 理由: 巡回活動を行うため 理由:	
活動用交通手段の必要性		
◎有 ○無 ○車輦 ◎単車 ○自転車		
支援対象地域の巡回が期待されているため		
* 研修等(H:障がい者施設研修, A:エイズ配慮研修 a.エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト, N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能, ×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)		
概 況	気候(亜熱帯) 気温(15~40℃位) 電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	
地 況	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 6 月 25 日

要請番号(JL 051 - 11 - B - 06)

調査者名: 若井 郁子

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
バングラ デシュ	職種 村落開発普及員 (コード 1503) 指導科目	○新規 ◎交替 2 代目	◎2 年 ○1 年 ○ヶ月	1 24 / 1	年 月 から
	職種(英) Rural Community Development 指導科目(英)			2 24 / 2	
				3 24 / 3	

開発課題 砒素汚染対策

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 地方自治・農村開発・協同組合省 (受入機関名)(英語) Ministry of Local Government, Rural Development & Cooperatives
	2) 配属先名 (日本語) 公衆衛生工学局 ジョソール県事務所 (英語) Jessore DPHE(Department of Public Health Engineering)
	3) 任地 ジョソール県 首都(ダッカ)から 北西 方向 273 Km 主要都市(ダッカ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 7.0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 公衆衛生工学局(DPHE)は、地方農村部の水供給事業を担う政府機関で、中央に加えて県、郡レベルに事務所及び職員を有し、飲料水源にかかる計画立案、調査、建設を行っている。JICAの支援としては、NPO法人アジア砒素ネットワークを通じた砒素センタープロジェクト(2002~2004年)と持続的汚染対策プロジェクト(2005~2008年)、及び砒素対策個別専門家派遣(2000~2011年)を実施。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) バングラデシュ政府は、地下水の砒素汚染を健康と生命に関わる重大な問題として、国際的な協力のもと早期解決をめざしており、2004年に国家砒素緩和政策の実行計画を承認し、対策を進めている。併せて、地下水への塩分・鉄分の混入や水位低下等も、安全な水へのアクセスの阻害要因となっている。しかしDPHEの現在の体制では、これら課題に十分に対応しきれておらず、計画策定、住民啓発、利用者組合の組織化、水源種別の選択、施工監理、水質検査、維持管理等、改善すべき点が多い。また、課題解決に必要な住民の知識も十分とはいえず、砒素及び水対策に関する情報提供や住民組織による水源の維持管理方法の助言等が必要とされている。
	2) 期待される具体的業務内容 DPHE 県事務所を拠点とし、県事務所スタッフ及び郡事務所スタッフ(ジョソール県は8郡)と協力して、以下の活動を行う。 ・住民に対し、飲料水に関わる課題(特に地下水の砒素汚染)に関する啓発活動を行う。 ・飲料水源の設置にあたり、必要に応じて住民組織の形成と運営を支援する。 ・飲料水源の設置後、住民組織による維持管理状況を把握し、必要に応じて住民組織を支援する。 ・飲料水に関する課題を検討・調整する場として、ユニオン開発調整委員会(UDCC)や、砒素対策委員会(AMC)の活動を支援する。
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 啓発活動に使う資料(ポスター、フリップチャート、プロジェクトデータなど。)
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル Executive Engineer, Assistant Engineer 男性40代 Projectionist 男性40代 Sub Assistant Engineer 男性、各郡に1名、40代

資 格 条 件	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) ベンガル語 ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: D) ☐ (レベル:)
	()	

条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	研修等	形態	現職教員特別参加制度
・教諭免許() ・性別(~) 性別理由: ・学歴(大卒) (業務関連分野) 学歴理由: 活動内容を考慮 ・経験() () 経験理由: ・参加型ワークショップの企画や参加経験 理由: 活動内容を考慮 ・小型自動二輪以上 理由: 活動上必要なため		P	x

活動用交通手段の必要性
 ◎有 ○無 ○車輛 ◎単車 ○自転車
 同僚も単車を利用し巡回活動を行っているため。

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(亜熱帯モンスーン) 気温(10~40℃位) 電気(☐安定 ☑不安定 ☐なし) 電話(☑インターネット可 ☐通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)
----------	---

平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

記入日:平成 23 年 6 月 25 日

要請番号(JL 051 - 11- B - 07)

調査者名: 若井 郁子

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
バングラ デシュ	職種 村落開発普及員 (コード 1503)	◎新規 ○交替 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	24 / 1	年 月 から
	職種(英) Rural Community Development			2	24 / 2	
指導科目(英)	3	24 / 3				

開発課題 砒素汚染対策

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 地方自治・農村開発・協同組合省 (受入機関名)(英語) Ministry of Local Government, Rural Development & Cooperatives
	2) 配属先名 (日本語) 公衆衛生工学局 クルナ県事務所 (英語) Jessore DPHE(Department of Public Health Engineering)
	3) 任地 クルナ県 首都(ダッカ)から 北西 方向 335 Km 主要都市(ダッカ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 8.0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 公衆衛生工学局(DPHE)は、地方農村部の水供給事業を担う政府機関で、中央に加えて県、郡レベルに事務所及び職員を有し、飲料水源にかかる計画立案、調査、建設を行っている。JICAの支援としては、NPO法人アジアヒ素ネットワークを通じたヒ素センタープロジェクト(2002~2004年)と持続的汚染対策プロジェクト(2005~2008年)、及びヒ素対策個別専門家派遣(2000~2011年)を実施。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) バングラデシュ政府は、地下水のヒ素汚染を健康と生命に関わる重大な問題として、国際的な協力のもと早期解決をめざしており、2004年に国家ヒ素緩和政策の実行計画を承認し、対策を進めている。併せて、地下水への塩分・鉄分の混入や水位低下等も、安全な水へのアクセスの阻害要因となっている。しかしDPHEの現在の体制では、これら課題に十分に対応しきれておらず、計画策定、住民啓発、利用者組合の組織化、水源種別の選択、施工監理、水質検査、維持管理等、改善すべき点が多い。また、課題解決に必要な住民の知識も十分とはいえず、ヒ素及び水対策に関する情報提供や住民組織による水源の維持管理方法の助言等が必要とされている。	
	2) 期待される具体的業務内容 DPHE 県事務所を拠点とし、県事務所スタッフ及び郡事務所スタッフ(クルナ県は9郡)と協力して、以下の活動を行う。 ・住民に対し、飲料水に関わる課題(特に地下水のヒ素汚染)に関する啓発活動を行う。 ・飲料水源の設置にあたり、必要に応じて住民組織の形成と運営を支援する。 ・飲料水源の設置後、住民組織による維持管理状況を把握し、必要に応じて住民組織を支援する。 ・飲料水に関する課題を検討・調整する場として、ユニオン開発調整委員会(UDCC)や、ヒ素対策委員会(AMC)の活動を支援する。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 啓発活動に使う資料(ポスター、フリップチャート、プロジェクトデータなど。)	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル Executive Engineer, Assistant Engineer 男性40代 Projectionist 男性40代 Sub Assistant Engineer 男性、各郡に1名、40代	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) ベンガル語 () ()

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許() ・性別() 性別理由: ・学歴(大卒) (業務関連分野) 学歴理由: 活動内容を考慮 ・経歴() () 経歴理由: ・参加型ワークショップの企画や参加経験 理由: 活動内容を考慮 ・小型自動二輪以上 理由: 活動上必要なため	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
◎有 ○無 ○車輛 ◎単車 ○自転車 同僚も単車を利用し巡回活動を行っているため。		P	x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(亜熱帯モンスーン) 気温(10~40℃位) 電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
	水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 6 月 22 日

要請番号(JL 060 - 11 - B - 03)		調査者名: 小澤重久		
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期 JOCV/SV 日系/短期等
ネパール	職種 村落開発普及員 (コード 1503)	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1 24 / 1
	指導科目			2 24 / 3
	職種(英) Rural Community Development 指導科目(英)			3 /
年 月 から				
開発課題 農業・農村開発				
配属先概要	1)受入省庁名(日本語) 農業協同組合省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Co-operatives			
	2)配属先名 (日本語) シンドウパルチョーク郡農業開発事務所 (英語) District Agriculture Development Office, Sindhupalchok			
	3)任地 シンドウパルチョーク郡 首都(カトマンズ)から 北東 方向 80 Km 主要都市(ドゥリケル)までの交通手段及び所要時間(バス で約 3 時間)			
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は郡に配置されている農業開発事務所。活動地域は、同事務所の5つの支所の1つで、担当する地域の農民に対して技術サービスを提供している。配属先の年間予算は約1200万円であるが、技術普及に関する予算は限られている。2009年1月まで農業普及の技術協力プロジェクトが実施され、配属先技術スタッフを対象に農民の組織化、農業普及の技術指導を行った。前任者はそのプロジェクトのフォローアップに取り組んだ。			
要請概要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 上記プロジェクトは、農業開発事務所が行う農業普及効率改善のため、農民グループを村単位にまとめ農業開発委員会(ADC)を組織した。前任者はこのADCを足がかりに、SV(キノコ栽培)の協力を得て現金収入につながるキノコ栽培の普及を行った。また、農民グループの協同組合化を支援し農産物の生産と販売を組織的に進め事業の継続的な発展に取り組んだ。ボランティアによるプロジェクトのフォローアップにより、活動地域では農家の収入が向上し生活が改善されつつある。しかし、それぞれの農民グループは小規模であり、組織強化の支援が必要とされており、今回の要請となった。			
	2)期待される具体的業務内容 ①農業開発委員会(ADC)の活動支援 ②農民グループの農業協同組合化支援 ③モデル農家を核とした農業技術普及、キノコ栽培普及への協力			
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 支所に機材は設置されていない。郡庁所在地にある配属先には基本的な事務機器がそろっている。			
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 所長(40代 男性)、技官(果樹、植物病理、農業普及各1名 20~40代 男性)、技官補及び技官補アシスタント(20~30代 男女数名)。支所には、技官補及び技官補アシスタント各1名。		5)業務使用言語(訓練言語は上段) ネパール語 () ()	
6)選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル:)				
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)			
	<ul style="list-style-type: none"> ・教諭免許() ・性別() 性別理由: ・学歴()() 学歴理由: ・経歴()() 経歴理由: ・農作物の栽培経験 理由: 農業支援を行うため 理由: 			
活動用交通手段の必要性		研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車				x
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)				
概地域況	気候(亜熱帯) 気温(0~35℃位)		電気 <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道 <input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
	電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)			

平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 6 月 24 日

要請番号(JL 060-11-B-04)

調査者名:小澤重久

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ネパール	職種 村落開発普及員 (コード 1503) 指導科目	○新規 ●交替 2 代目	◎2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	職種(英) Rural Community Development 指導科目(英)			1	24 / 1	年 月 から
				2	24 / 3	
			3	/		

開発課題 農業・農村開発

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education
	2)配属先名 (日本語) ネパール国婦国研修員同窓会 (英語) JICA Alumni Association of Nepal (JAAN)
	3)任地 カトマンズ郡カトマンズ市パルク 首都(カトマンズ)から 南東 方向 5 Km 主要都市(カトマンズ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先はJICAの本邦研修帰国者の同窓会であり、文化交流イベントの開催、日本語学校の運営、専門分野に関するセミナー等の開催、村での識字教育や健康診断等を行っている。2008年、外務省の草の根無償によりコミュニティ開発センターを新設し、関係機関やNGOと協力し地域開発支援を実施している。同配属先傘下の日本語学校へは、数代にわたり日本語教師ボランティアが派遣されている。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 配属先は、上記のコミュニティ開発センターを拠点に、同国農業局、小規模農家に対する灌漑施設及び高付加価値作物の普及を行っているNGOと連携し、カトマンズ周辺で地域開発を実施している。同配属先が対象地域としているナル村、レレ村及びチャンラケル村の農民は前任者の支援を受け、グループを作り協同して農業に取り組み収入向上をめざしている。メンバーのほとんどは女性であり、字の読み書きが困難な人も多く、前任者は対象村落部で住民が抱えるニーズを把握し、活動課題を整理して配属先にフィードバックした。それら課題を引き継いで地域開発を行っていくため、後任ボランティアが要請された。
	2)期待される具体的業務内容 同配属先の対象地域に滞在し、村落住民と協力しながら、以下の活動を行う。 ①住民の視点からコミュニティニーズを把握し、配属先にフィードバックし活動課題の具体化を支援する。 ②対象の村を巡回訪問しながら、農家グループの農業関連の収入向上活動を中心とする地域開発を支援する。 ③対象の村において、村人の生活改善の活動を支援する。 * 関連職種ボランティアと連携した活動が期待される。
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 特になし

資 格 条 件	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 事務局長(非常勤 男性1名 農学博士) フィールドコーディネータ(常勤 女性1名) 事務アシスタント(常勤 女性1名) 用務員(常勤 男性1名)	5)業務使用言語(訓練言語は上段) ネパール語 ()	6)選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル:)
------------------	--	-----------------------------------	---

条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)

- ・教諭免許() ・性別() 性別理由:
- ・学歴()() 学歴理由:
- ・経験()() 経験理由:
- ・参加型ワークショップの企画や参加経験 理由: 農民の活動支援を行うため
- 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
◎有 ○無 ○車輛 ○単車 ◎自転車			x

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度 (◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(亜熱帯) 気温(0~35℃位) 電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)

短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 7 月 1 日

要請番号(JL 124 - 11 - B - 02)

調査者名: 黒木 直敏

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
パプア ニューギ ニア	職種 村落開発普及員 (コード 1503)	○新規 ●交替 3 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	24 / 2
	指導科目			2	24 / 3
	職種(英) Rural Community Development			3	/
	指導科目(英)				年 月 から

開発課題 地方村落の生計向上

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) ミリンベイ州政府 (受入機関名)(英語) Milne Bay Provincial Administration
	2)配属先名 (日本語) 農業畜産局 (英語) Division of Agriculture and Livestocks
	3)任地 アロタウ 首都(ポートモレスビー)から 東 方向 300 Km 主要都市(アロタウ市内)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.1 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ミリンベイ州は本島東部に位置し、たくさんの島々からなる州である。配属先は州全体の農畜産業の振興に向け、方策の策定及びその実施のため各地区担当官の指導やモニターを主な業務としている。スタッフは8名で、食料自給・換金作物・スパイス・コーヒー・畜産・ココナッツを担当している。年間予算は約43万キナ(約1600万円)である。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 発展の中でイモ類中心の主食が米に移りつつあるが、米自給率は非常に低くほとんどを輸入に頼っている。食糧安全保障の観点から、米の自給率の増加は重要課題となっており全国で稲作普及が進められている。稲作には専門的な知識や技術が求められたため、JICAプロジェクトで小規模農民育成のための技術指導および教材の開発が行われてきた。それらの教材を用い、協力隊員が全国で普及活動の中心を担っている。前任者は、JICAプロジェクトの対象地域であるアロタウ周辺で農村や学校への稲作導入を進めている。その活動を引き継ぐと共に、ミリンベイ州全体へ更なる稲作普及を目的として今回の要請へと至った。
	2)期待される具体的業務内容 州全体への稲作普及に向けて農村における巡回指導や学校での農業実習を行う。 ①稲作への関心を持たせるためのワークショップ実施 ②農村への手動式精米機の普及 ③学校の農業クラスのひとつとして生徒に播種から収穫までを体験させる授業の実施 普及活動のためのテキストや紙芝居・ポスターなどは、農業省にて入手可能である。対象となる陸稲は野菜栽培に近く、任国内の農業研修所で技能を養うことも可能である。農業知識の指導ではなく、住民の関心とやる気を引き出し、状況に応じた工夫をしていく普及員が求められている。 慢性的な住居不足から、他ボランティアとのシェアハウスとなる可能性がある。
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 動力精米機、小型トラクタ、鋤等農器具

要	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 配属先カウンターパート、食料保証担当の予定。	5)業務使用言語(訓練言語は上段) 英語 () ()	6)選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: B) <input type="checkbox"/> (レベル:)
---	---	---------------------------------------	---

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許() ・性別(男性) 性別理由: 治安上の理由から ・学歴()() 学歴理由: ・経験()() 経験理由: ・農作物の栽培経験(家庭菜園を含む) 理由: 実践的な普及活動を行うため 理由:
------------------	--

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輛 ●単車 ○自転車			×

巡回指導を行う場合に必要
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(熱帯雨林) 気温(25-35℃位) 電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
----------	---



長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 6 月 30 日

要請番号(JL 130 - 11 - B - 05)

調査者名: 上田 博之

国名	職種/指導科目	区分	派遣希望期間	派遣希望時期	
トンガ	職種 村落開発普及員 (コード 1503)	(長期のみ)		JOCV/SV	日系/短期等
	指導科目	○新規	◎2年	1 24 / 1	年 月 から
	職種(英) Rural Community Development	◎交替	○1年	2 24 / 2	
指導科目(英)	○ヶ月	2 代目	3 24 / 3		

開発課題 自然災害(台風・地震・津波等)の予防対策強化

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) 建設省 (受入機関名)(英語) Ministry of Works
	2)配属先名 (日本語) 国家緊急災害管理事務所 (英語) National Emergency Management Office (NEMO)
	3)任地 トンガタブ島ヌクアロファ 首都(ヌクアロファ)から 北西 方向 1 Km 主要都市(トンガタブ島ヌクアロファ)までの交通手段及び所要時間(自転車 で約 0.3 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 建設省の管轄下にある、国家緊急災害管理事務所は、トンガ国の防災事業管理運営の調整機関として1996年に設置された。同事務所スタッフは5名で、トンガタブ本島他、エウア島、ハーパイ島、ババウ島、ニウアトプタブ島、ニウアフォオウ島全国の地域住民を対象に防災強化事業を担う。建設省の予算枠の内、災害管理事務所の年間予算は約100千米ドル。UNDPが防災サイレン等の導入を支援している。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 国家緊急災害管理事務所は、災害発生時の緊急援助物資や資金の調整をはじめ、地域やコミュニティでの防災戦略に取り組みながら、世銀やニュージーランド、EU、SOPAC(南太平洋応用地球科学委員会)による支援を受け、地域コミュニティへの防災教育を目的としたワークショップの実施や、避難所の選定等を行っている。22年度2次隊からボランティア派遣を行なっているが、地域コミュニティレベルにおける災害管理計画や早期警戒体制の構築、防災教育支援および防災事業ネットワークの立ち上げ等業務が多岐にわたるため、後任の要請に至った。	
	2)期待される具体的業務内容 1. 地域住民主体の防災体制作りの支援 2. 地域住民の防災計画(危機評価、被害軽減策、被害対処策等)作りの支援 3. 日本の災害経験、防災知識・手法に関するワークショップ、セミナー等の実施 4. 防災活動における教材、手法のアドバイス 5. 気象局を中心に組織化が進められている防災事業ネットワークの立ち上げに協力する	
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 コンピュータ、コピー機、プリンター、無線機(Barret/HF、VHF)、緊急救助資機材(テント、ビニールシート、机、椅子、電気ケーブル、ジェネレータ、	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ・ワイヤ一、男性、42歳、大卒、地理分野における教職歴10年 ・通信官、男性、40歳、 ・クラーク、女性

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)	
	・教諭免許() ・性別() 性別理由: ・学歴(大卒)() 学歴理由: 同僚と同等レベルの学歴を要するため ・経歴() () 経歴理由: ・地域活動の経験 理由: コミュニティの人々との協力活動となるため ・防災など危機管理に係る基礎知識や経験 理由: ワークショップ、セミナー等の実施のため	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(亜熱帯) 気温(17-30℃位) 電気 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)

短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 20 日

要請番号(JL 227 - 11 - B - 04)

調査者名: 川上 哲也

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
エルサルバドル	職種 村落開発普及員 (コード 1503) 指導科目	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1 24 / 1 2 24 / 2 3 24 / 3	年 月 から
	職種(英) Rural Community Development 指導科目(英)				
開発課題 地方開発のための産業基盤整備と生産性向上					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) サンロレンソ市役所 (受入機関名)(英語) San Lorenzo City Hall				
	2) 配属先名 (日本語) サンロレンソ市役所 (英語) San Lorenzo City Hall				
	3) 任地 アウアチャパン県サンロレンソ市 首都(サンサルバドル)から 北西 方向 100 Km 主要都市(サンタアナ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同国西部グアテマラ国境に隣接するアウアチャパン県サンロレンソ市の行政サービスを司る地方自治体で、社会経済振興を通じた地方開発及びインフラ整備、天然資源の向上を主要な業務としている。2011年度予算は、1,429,729.58米ドルである。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 現在コミュニティの中で進行している組織作りにかかる業務が急務となっており、特に同地域における農業関係者グループの組織化に関し、助言、研修、現場視察、分析の実施が必要となっている。さらに、経済開発のために市を挙げて取り組んでいる一村一品プロジェクトへの支援及び調整をする人材が求められている。				
	2) 期待される具体的業務内容 ① 農牧生産者の組織作りを支援する。 ② 土壌管理、病虫害対策、農業衛生管理、持続的環境改善などをテーマとした研修会開催に協力する。 ③ 村落開発委員会の組織化及び設立を支援する。そのためのリスク軽減、プロジェクト形成、委員会メンバーの役割分担などにかかる研修会開催に協力する。 ④ コミュニティの組織化を目指し、新たな企画立案を確立する。 ※ホームステイが原則。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 執務室、事務機器、消耗品				
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 総括責任者～市長(男性、40代) カウンターパート市職員2名(総務課、社会推進課) そのほか～市職員(男性3名、女性1名)、農業従事者25名		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) スペイン語 ()		6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: B) <input type="checkbox"/> (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・ 教諭免許() ・ 性別() 性別理由: ・ 学歴(大卒) () 学歴理由: 配属先関係者が大卒者のため ・ 経歴(社会経歴) (2年以上) 経歴理由: 業務上必要なため 理由: 理由:				
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車					x
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概地況域	気候(亜熱帯気候) 気温(25~35℃位)		電気 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	水道 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)	
	電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)				



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)

短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 21 日

要請番号(JL 227 - 11 - B - 05)

調査者名:川上 哲也

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
エルサル バドル	職種 村落開発普及員 (コード 1503)	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	24 / 1	年 月 から
	指導科目			2	24 / 2	
	職種(英) Rural Community Development			3	24 / 3	
	指導科目(英)					

開発課題 地方開発のための産業基盤整備と生産性向上

配 属 先 概 要	1)受入省庁名(日本語) NGO サルバドル保健人間開発基金 (受入機関名)(英語) NGO Salvadorean Health and Human Development Foundation
	2)配属先名 (日本語) NGO サルバドル保健人間開発基金 (英語) NGO Salvadorean Health and Human Development Foundation
	3)任地 モラサン県トローラ市 首都(サンサルバドル)から 東 方向 220 Km 主要都市(サンミゲル市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 4.0 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同基金は営利を目的としないNGO団体で、人間開発を目的として同国民間企業の社会的見地と責任を導入しつつ、社会的弱者を結束させ、保健及び教育面での活動を通じ、サービスの提供を行っているプロジェクトは、健康、栄養、食品衛生、教育及び地方開発がある。ボランティアは健康栄養プログラムに所属予定である。2011年度健康栄養プログラム予算は180万米ドルである。

要 請 概 要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同基金はモラサン県において、「リプラス・デ・アモール(栄養改善/体重増加プロジェクト)」モデルプログラムを実施予定で、食品衛生、地方開発、健康及び栄養を重点分野としている。本プロジェクトは米州開発銀行日本基金の支援を受けることになっている。しかしながら、同基金では食品衛生及び地方開発分野においては機能強化を図る必要があり、村落開発分野を支援するボランティア派遣を要請する。
	2)期待される具体的業務内容 ①同地域において現金収入を獲得するための参加コミュニティの分析に協力する。 ②自治体参加のためのプログラム開発に協力する。 ③現金収入を得るために官民連携調整を支援する。 ④受益対象者の選定及び現金収入体系の確立に協力する。 ⑤現金収入を得るために助言を行う。 ⑥現金収入によるコミュニティ開発のための支援を行う。 ※ホームステイが原則。
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 執務室(机、椅子など)

資 格 条 件	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 責任者兼カウンターパート(生産性プロジェクト健康栄養プログラム主任) 基金職員(農業技術者、栄養士ほか) 受益対象家族	5)業務使用言語(訓練言語は上段) スペイン語 ()	6)選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: B) <input type="checkbox"/> (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許()・性別()性別理由: ・学歴(大卒)()学歴理由:配属先関係者が大卒者のため ・経験(社会経験)(2年以上)経験理由:業務上必要なため 理由: 理由:		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車		N	×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(亜熱帯気候) 気温(20~35℃位) 電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし) 電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
----------	---



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(◎JV ○日青 ○SV ○日SV)

短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 23 日

要請番号(JL 233 - 11 - B - 02)

調査者名: 野並 文朗

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
グアテマ ラ	職種 村落開発普及員 (コード 1503)	◎ 新規 ○ 交替 代目	◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	24 / 1	年 月 から
	指導科目			2	24 / 2	
	職種(英) Rural Community Development 指導科目(英)			3	24 / 3	

開発課題 地域間格差の是正

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 大統領府企画庁 (受入機関名)(英語) Presidencial Secretary of Planning and Programing (SEGEPLAN)
	2) 配属先名 (日本語) NGO「よりよい生活のために」協会 (英語) NGO Vivamos Mejor Association
	3) 任地 ソロラ県パナハチェル市 首都(グアテマラ市)から 西 方向 150 Km 主要都市(ソロラ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 西部高原地域ソロラ県にて、主に先住民女性グループを対象に支援活動を行う国際NGO団体である。「農業生産」「保健」「環境」「教育」「災害対策」の各プログラムを柱に住民の生活改善をめざしている。本邦でのJICA研修(生活改善)受講者が代表となっている。本年度の「草の根・人間の安全保障無償資金協力」により、活動集落への簡易調理場の建設が承認されている。年間の運営資金は約250万米ドル(2009年)。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 型にはまりがちな住民グループへの啓発活動を、より効果的に行うことを考えた際、新たな視点からの新鮮な提案が必要と考えられた。本邦研修、協力隊との活動などで得た経験から、日本人のアイデアあふれる活動を期待しての本要請となった。隊員が携わる「農業生産」プログラムでは、食料の安全保障を目的としたハウス栽培が進められている。この活動による農作物を利用した栄養価に富むレシピの紹介、また「保健」「教育」など他のプログラムとの連携による、就学前児童を対象とした衛生指導といった活動が期待される。2009年1月から2ヶ月間JVが在籍し、イラストを活用した視覚教材の提案などアイデアあふれる活動を展開した。	
	2) 期待される具体的業務内容 ①住民の生活改善をめざした講習会での協働・観察を通じた改善案の提案 (視覚教材の作成、遊びの取り入れ等、自由な発想での提案が期待される。) ②ハウス栽培による農作物を活用したレシピの開発・紹介 ③歯磨き・手洗い等の衛生指導 (主な対象は、配属先が運営する児童施設での就学前児童となる。) ※活動サイトは配属先本部より車で1時間半程の高地集落(約2800m)となる。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 事務用品一般	
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 総数120名(男女約同数) 農業生産プログラム内生活改善担当(女性30代)がC/Pとなる。	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) スペイン語 () ()
	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル:)	

条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)

- ・ 教諭免許() ・ 性別() 性別理由:
- ・ 学歴 (大卒) (業務関連分野) 学歴理由: 一定レベルの知見が必要
- ・ 経歴 () () 経歴理由:
- 理由:
- 理由:

活動用交通手段の必要性

○有 ◎無 ○車輛 ○単車 ○自転車

研修等

形態

現職教員特別参加制度

N X

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)

* 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地 況域	気候(高地性寒冷) 気温(0~25℃位)	電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)	水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 27 日

要請番号(JL 306 - 11- B - 03)

調査者名: 佐野康博デニス

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ボリビア	職種 村落開発普及員 (コード 1503)	○新規 ●交替 3 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	24 / 1	年 月 から
	職種(英) Rural Community Development			2	24 / 3	
指導科目(英)	3	/ -				
開発課題 貧困地域における安全かつ持続的な飲料水供給						
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 環境水省 (受入機関名)(英語) Ministry of Water and Environment					
	2) 配属先名 (日本語) タリハ県庁公共事業局 (英語) Public Works Department of Tarija Prefecture					
	3) 任地 タリハ県タリハ市 首都(ラパス市)から 南東 方向 700 Km 主要都市(ラパス市)までの交通手段及び所要時間(飛行機 で約 1 時間)					
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) タリハ県庁公共事業局地下水開発プログラム(通称PRODASUT)は、井戸掘削を通じて水源確保、飲料水アクセス圏の拡大により村落住民、コミュニティの生活水準向上を図る。PRODASUTの年間予算(2011年)は、約130万米ドル。技術協力プロジェクト「生命(いのち)の水フェーズ2」(2008~2011年)が行われており、水理地質学のシニア海外ボランティアが同配属先で活動している。					
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 日本政府の無償資金協力「第2次地方地下水開発計画」により、タリハ県庁では5ヵ年計画第2期(2006年~2010年)が実施された。しかし、コミュニティへの水供給において重要となる住民による水管理組合の組織化や住民の収入源となるような生産活動の促進は、未だ不十分な状況である。ボランティアのPRODASUTでの活動により水管理組合の組織化を進め、水料金徴収システムの改善、給水施設の維持管理の適切な実施に貢献する。現在、協力隊員がコミュニティ巡回、水管理組合の運営改善、生産活動支援を行っている。					
	2) 期待される具体的業務内容 1. 井戸掘削コミュニティにおける社会調査の実施 2. 水管理組合の運営強化及び給水施設の維持管理指導 3. 当該コミュニティにおける収入源となる生産活動の支援 4. 当該コミュニティの住民に対する水源汚染を防ぐための衛生教育や啓発活動の実施					
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 事務機器					
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 建築技師、農業技師など40歳代~50歳代		5) 業務使用言語(訓練言語は上段) スペイン語 ()			6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル:)
資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)					
	・教諭免許() ・性別() 性別理由: ・学歴(大卒)() 学歴理由: 現場での指導をスムーズに行うため ・経歴() 経歴理由: 理由: 理由:					
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度	
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車					x	
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、x:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)						
概 況	気候(温帯) 気温(10-25℃位)		電気 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし			
電 話	<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし					



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)

短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 23 年 6 月 29 日

要請番号(JL 469 - 11 - B - 03)

調査者名: 池内 修

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
モロッコ	職種 村落開発普及員 (コード 1503) 指導科目 職種(英) Rural Community Development 指導科目(英)	○新規 ●交替 3 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1 24 / 1 2 / 3 /	年 月 日から
開発課題 地方開発					
配属先概要	1)受入省庁名(日本語) 内務省 (受入機関名)(英語) Ministry of Interior				
	2)配属先名 (日本語) ワリリ村役場 (英語) Rural district of OUALILI (Prefecture of MEKNES)				
	3)任地 ワリリ 首都(ラバト)から 東 方向 180 Km 主要都市(メクネス)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5 時間)				
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 現ワリリ村は、2009年6月の地方選挙時に旧カルメット・ベン・サレム村と旧ワリリ村が合併、23集落人口約1.2万人が暮らしている。村役場は住民へのサービス、公共事業等を行っている。農業人口の多い同地では、近年収入向上のため観光にも力を入れようとしている。2008年6月、初代JOCVが活動を開始した。役場と人間開発にかかる国家イニシアティブ (INDH) により3つの集落で山羊プロジェクトが動き始めた。				
要請概要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) モロッコ王国が推進する人間開発国家イニシアティブ (INDH) の貧困村に指定されている同村では、住民の収入向上や生活の向上を目指している。観光客はムーレイドリス町に立ち寄ることなく世界遺産であるヴォルピリス遺跡を見学するため、観光収入は伸び悩んでいる。前任者はムーレイドリスに住み、ワリリ村の各集落(カルメット、ベニメラーズなど)の女性アソシエーションの支援を行っている。引き続き同地域の観光宣伝と生活向上のための仕組み作りなどが求められている。				
	2)期待される具体的業務内容 村役場、アソシエーションの女性など関係者に対してHPを活用方法の支援を中心に能力向上(キャパシティー・ビルディング)による収入機会の拡大を目指す。 1)外国人観光客にムーレイドリスに立ち寄ってもらえるようHPの立ち上げ、更新、管理 2)ワリリ村集落のアソシエーションで製作した手工芸品、チーズなど山羊製品による収入向上の支援 3)持続可能性を考慮した販売網の構築				
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 PC7台(カルメット青年の家)ほか				
	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 村長、男性、53歳代 アソシエーションの女性 その他役場、青年の家などの関係者		5)業務使用言語(訓練言語は上段) フランス語 () アラビア語 ()		6)選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: B) <input type="checkbox"/> (レベル:)
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です) ・教諭免許() ・性別() 性別理由: ・学歴(大卒)() 学歴理由: 学歴重視の傾向があるため ・経歴() 経歴理由: ・ホームページ作成管理の基礎的スキル 理由: 業務上必要なため ・地域おこし等の知識、経歴 理由: 業務上必要なため				
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車					×
* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO) * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)					
概況	気候(地中海性) 気温(5-35℃位)		電気 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		
地域	電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし)		水道 <input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)		



平成 23 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(●JV ○日青 ○SV ○日SV)

短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 23 年 6 月 30 日

要請番号(JL 472 - 11 - B - 01)

調査者名: 山田 幸

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
スーダン	職種 村落開発普及員 (コード 1503)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目			1	24 / 1	年 月 から
	職種(英) Rural Community Development			2	24 / 2	
指導科目(英)	3	24 / 3				

開発課題 スーダン その他開発課題

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) カッサラ州農林灌漑省 (受入機関名)(英語) Kassala State Ministry of Agriculture, Forestry and Irrigation
	2) 配属先名 (日本語) 技術移転普及局 (英語) Technology Transfer and Extension Administration
	3) 任地 カッサラ州カッサラ郡 首都(ハルツーム)から 東 方向 550 Km 主要都市(カッサラ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) カッサラ州農林灌漑省技術移転普及局は、同州政府の農業技術及び生活改善に係る普及を担う部署である。州内には23か所の農業普及センターがあり、農業技術普及を行う農業普及員とともに、主に女性の生計向上・生活改善活動支援する農村開発普及員が配置されている。州全体の普及員は57名であり、このうち農業技術普及を担当する農業普及員が28名、村落開発を担当する農村開発普及員は18名となっている。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) カッサラ州はスーダン東部に位置する人口約180万人の州でありエチオピア及びエリトリアと国境を接し国内外から多くの避難民を受け入れている。同州の経済基盤は農畜産業に大きく依存しているが、干ばつや紛争の影響により畜産・農業生産基盤が縮小し、食料増産や食料購入に必要な現金収入の確保が課題となっている。本隊員は、同州農林灌漑省普及局の普及員をカウンターパートとし、村落普及活動への支援を行なう。なお2011年5月に開始した技術協力「カッサラ州基本行政サービス向上による復興支援プロジェクト」において村落生計向上に関する普及活動が計画されていることから、同プロジェクトとの緩やかな連携・補完が期待される。	
	2) 期待される具体的業務内容 1. カッサラ州農林灌漑普及局を拠点に同局職員とともに村落普及活動(栄養改善、衛生改善、環境美化、環境教育等の意識向上プログラム)を行う。 2. 同局カッサラ普及区南サワギ普及センターを拠点に南サワギ地区担当の農村開発普及員とともに村落普及活動を行なう。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 特になし	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル カッサラ州農林灌漑省技術移転普及局 普及部長 男性、50代 カッサラ普及区(南サワギ地区含む)農村開発普及員10名、20~50代	5) 業務使用言語(訓練言語は上段) アラビア語 () 英語 ()

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問です)
	<ul style="list-style-type: none"> ・教諭免許() ・性別(女性) 性別理由: 任地の慣習上、女性向け普及活動は同性のみ ・学歴()() 学歴理由: ・経歴()() 経歴理由: ・環境美化、衛生・栄養改善に関する基礎知識 理由: 活動の計画、実施に必要なため ・地域でのコミュニティ活動経歴 理由: 活動の計画、実施に必要なため

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			×

* 研修等(H:障がい者施設研修、A:エイズ配慮研修 a:エイズ基礎講義) * 形態(P:ボランティアプロジェクト、N:NGO)
 * 現職教員特別参加制度(◎:現職教員特別参加制度での派遣が可能、×:現職教員特別参加制度での派遣が不可能)

概地況	気候(砂漠) 気温(30~45℃位) 電気(<input type="checkbox"/> 安定 <input checked="" type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
	水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)

電話(インターネット可 通話可 不良 なし)